

埼玉県後期高齢者医療広域連合

保健事業実施計画

平成27年11月

【目次】

第1章 保健事業実施計画の基本的な考え方

1	計画策定の目的について	1
2	保健事業の基本的な考え方	1
3	他計画との関係	2
4	計画の期間	2

第2章 埼玉県における後期高齢者医療の現状と評価

1	人口の推移と将来推計	3
2	年齢階層別人口	4
3	被保険者数の状況	5
4	健康寿命と平均寿命	6
5	医療費の状況	7
6	疾病別医療費の状況	10
7	介護保険の状況	13

第3章 埼玉県の市町村における後期高齢者医療の現状と評価

1	人口の将来推計	15
2	平均年齢	18
3	被保険者数の状況	20
4	65歳健康寿命	25
5	介護保険の状況	27
6	医療費の状況	28
7	疾病別医療費の状況	29

第4章 保健事業の推進

1	これまでの取組	32
2	後期高齢者の健康課題	33
3	目標	34
4	保健事業について	35

第5章 その他

1	計画の評価方法・見直し	41
2	計画の公表・周知	41
3	運営上の留意事項	41

第1章 保健事業実施計画の基本的な考え方

1 計画策定の目的について

全国的に少子高齢化の進行により高齢者人口が増加しており、社会保障費の増大が見込まれております。

埼玉県においても、後期高齢者医療被保険者数が増加しており、医療費が増大しています。

こうした中、国民皆保険制度の持続と後期高齢者医療制度の安定的な運営のために、医療費の伸びが過大となることがないように、高齢者の健康保持・増進の取組を推進していくことが課題となっています。

また、近年、レセプトの電子化の進展等により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して、被保険者の健康課題の分析などを行う基盤整備が進んでいる中、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）において、レセプト等のデータ分析に基づいた健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成などの取組について推進方針が示されました。

さらに、「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく保健事業の実施等に関する指針」（平成26年3月31日厚生労働省告示第141号）において、保健事業実施計画の策定が示されました。

このように、保険者においては、被保険者の健康増進に資する保健事業を実施することによる医療費の適正化が求められており、埼玉県後期高齢者医療広域連合においても健診データ、医療データ等を活用した保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定するものです。

高齢者においては、加齢による身体機能の低下等により、自立した日常生活を維持することが困難となる場合が多いと考えられます。事業実施にあたっては、被保険者ができる限り長く健康で自立した生活を送ることができるよう、健康保持増進を支援するために、データ分析と調査を十分に行い、PDCAサイクル（事業を継続的に改善するため、Plan（計画）—Do（実施）—Check（評価）—Act（改善）の段階を繰り返すことをいう）に沿って、効果的かつ効率的に保健事業を実施するため、この計画を策定します。

2 保健事業の基本的な考え方

- ① 個々の被保険者の状況に即した健康保持増進を支援します。
- ② 医療情報等を分析して健康課題を抽出し、保健事業を推進します。
- ③ 健康課題別に対策を講じます。
- ④ 構成市町村との連携を強化します。

3 他計画との関係

「２１世紀における国民健康づくり運動（健康日本２１（第２次）」に示された基本方針を踏まえるとともに、「健康埼玉２１」等との整合性に配慮します。

4 計画の期間

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく医療費適正化計画である「埼玉県地域保健医療計画」の期間が平成２９年度までであることから、この計画との整合を図るため、計画の期間を平成２７年度から平成２９年度までとし、計画については必要に応じて見直しを行います。

第2章 埼玉県における後期高齢者医療の現状と評価

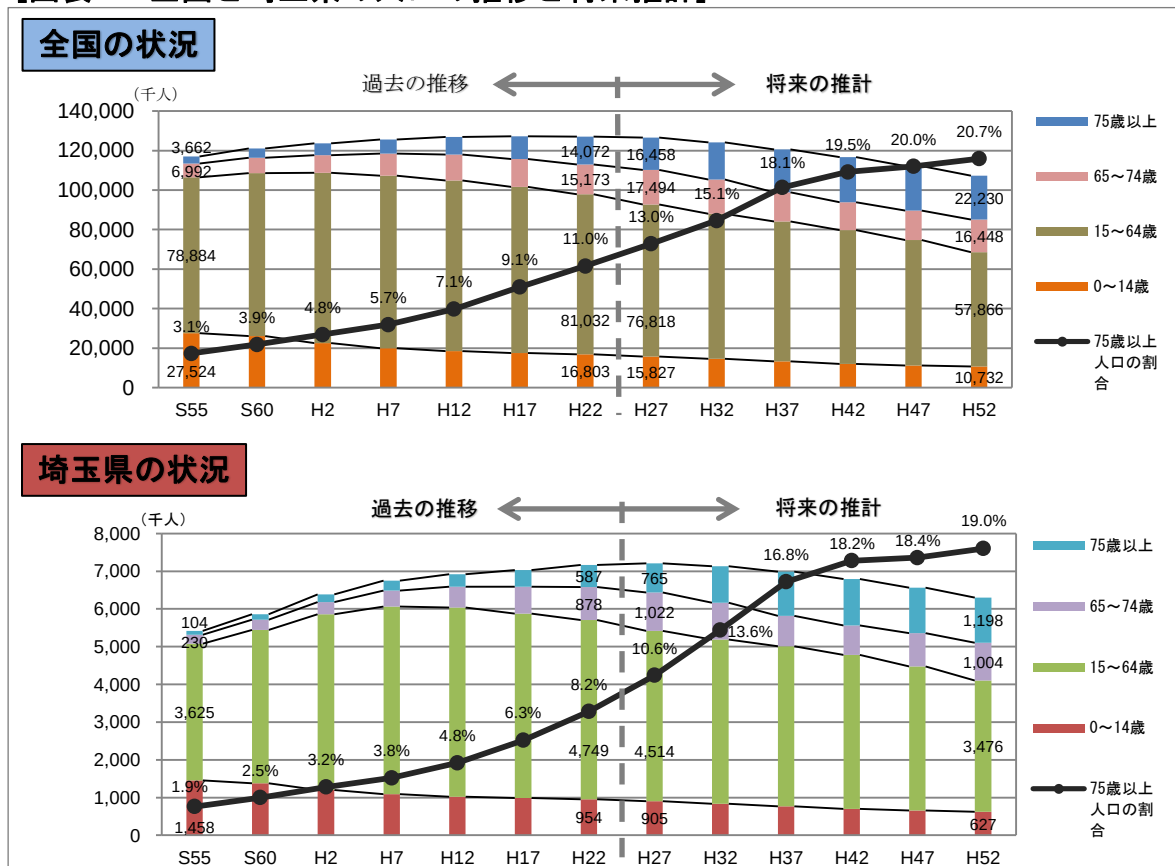
1 人口の推移と将来推計

日本の人口は、今後減少し始め少子高齢化が進行すると考えられています。既に人口減少が始まっている道府県もありますが、埼玉県の人口は、平成27年前後まで増加し、以降は減少に転じると推計されており、平成27年に約720万人と推計される県人口は、平成52年までに10%以上減少し、約630万人になると推計されています。

年齢3区分別人口※1では、全国的に0歳から14歳の年少人口と15歳から64歳の生産年齢人口が年々減少するのに対し、65歳以上の老年人口は増加を続けると推計されています。

埼玉県においても、昭和55年に県総人口のおよそ27%を占めていた年少人口が平成22年にはおよそ13%まで減少しており、平成47年頃には県総人口の10%を割り込む反面、老年人口は増加し、平成52年には県総人口の35%、3人に1人が65歳以上の高齢者になると推計されており、一段と少子高齢化が進行するものと考えられています。

[図表1 全国と埼玉県の人口の推移と将来推計]



平成22年までは総務省「国勢調査」、平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

※1【年齢3区分別人口】

0～14歳（年少人口）、15～64歳（生産年齢人口）、65歳以上（老年人口）の3区分で分けた人口。

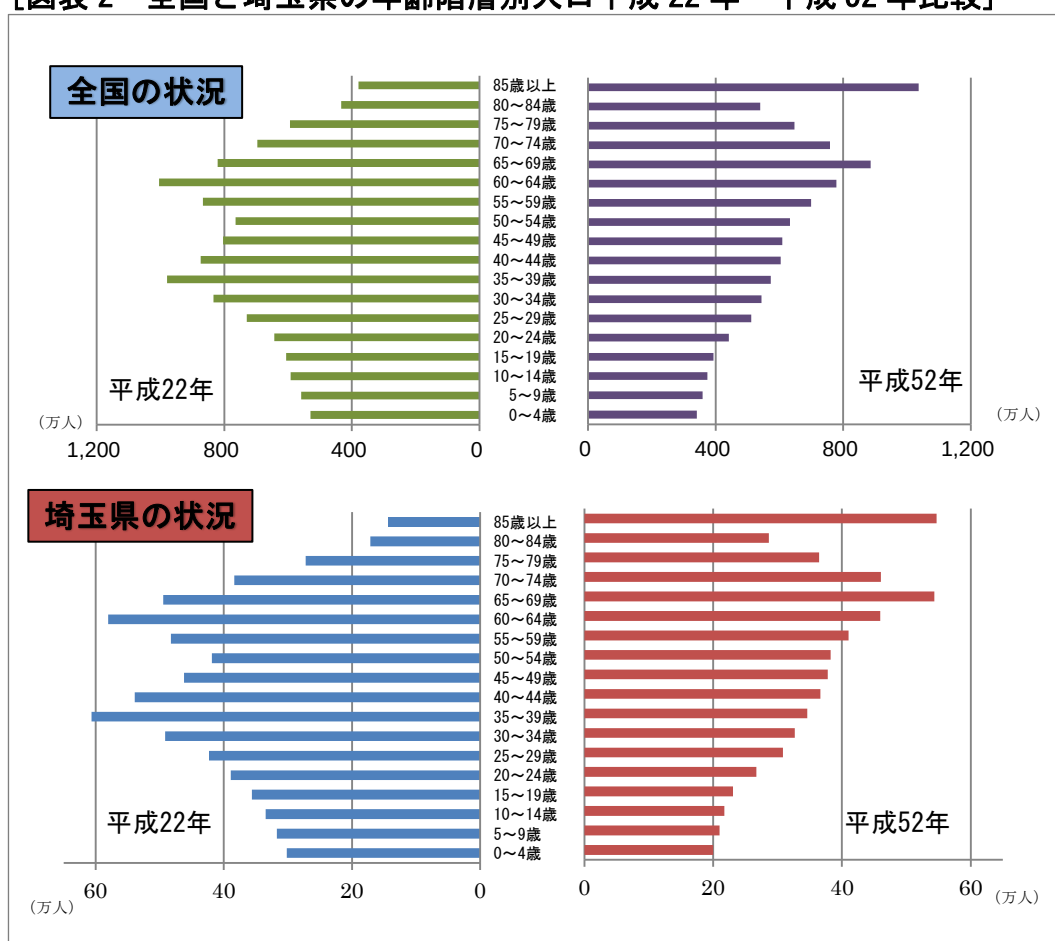
2 年齢階層別人口

日本の年齢階層別人口は、平成22年には第一次ベビーブーム世代の60歳代前半の人口が最も多く、続いて、その子供の世代である第二次ベビーブーム世代の30歳代後半の人口が多く、中高年層が厚い構成となっています。

一方、30年後の平成52年には第二次ベビーブーム世代が60歳代後半に達することにより、老年人口が総人口の35%以上を占め、特に85歳以上の人口が大幅に増加し、老年層が厚い構成に変化すると推計されています。

埼玉県の詳細な年齢階層別人口は、全国のものに似た構成比ですが、全国と比べ老年人口の増加率が大きいと推計されています。

〔図表2 全国と埼玉県の年齢階層別人口平成22年・平成52年比較〕



平成22年は総務省「国勢調査」、平成52年は国立社会保障・人口問題研究所「平成25年3月推計」

3 被保険者数の状況

平成25年度末の埼玉県後期高齢者医療被保険者数は69万2,248人で、後期高齢者医療制度が発足した平成20年4月（約51万人）から約18万人増加しています。

平成25年度の埼玉県後期高齢者医療被保険者数伸び率は全国1位となっており、毎年度約4から5%の高い値で推移しています。

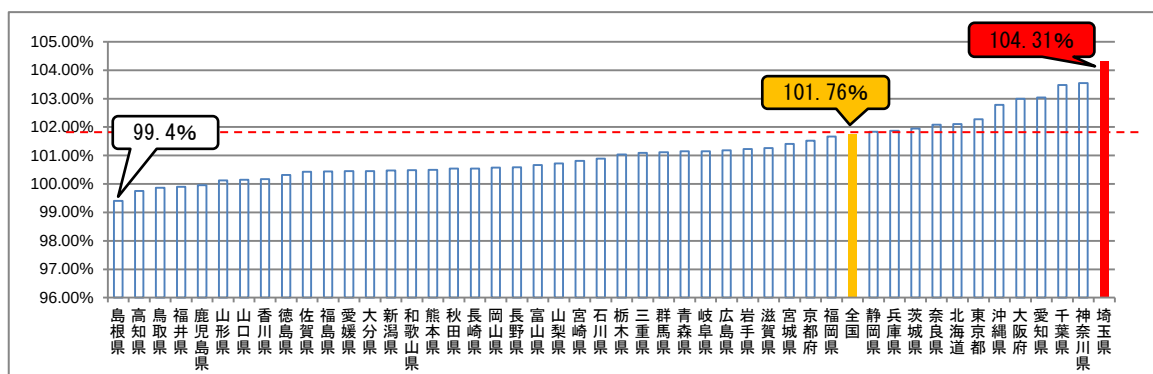
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」によると、埼玉県は人口は今後、減少が始まると推計されていますが、75 歳以上の後期高齢者人口については、平成 42 年頃まで上昇を続け、120 万人を上回り、平成 52 年には県人口の 19%に達すると推計されています。

「図表 3 埼玉県の人ロと被保険者数の推移」

区分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
人口（人）	7, 151, 054	7, 179, 020	7, 198, 305	7, 204, 353	7, 207, 748	7, 225, 484
被保険者数（人）	536, 353	564, 410	597, 269	628, 422	663, 672	692, 248
被保険者率	7. 50%	7. 86%	8. 30%	8. 72%	9. 21%	9. 58%
伸び率（対前年比）	——	5. 23%	5. 82%	5. 22%	5. 61%	4. 31%

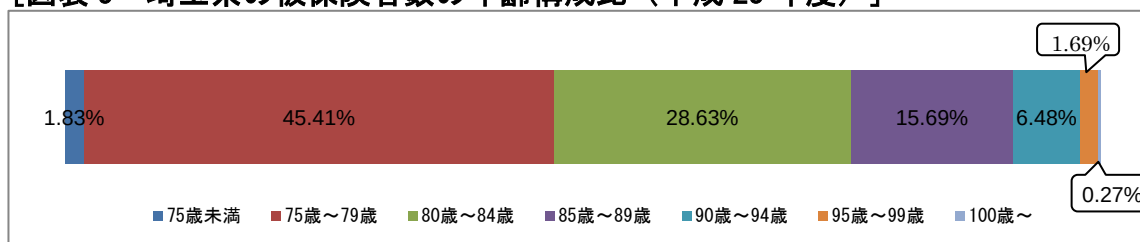
各年度末の人口（埼玉県総務部統計課「埼玉県の推計人口」、被保険者数（厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」）

[図表 4 全国の被保険者数伸び率（平成 25 年度）の比較]



厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

【図表 5 埼玉県の実業労働者の被保険者数の年齢構成比（平成 25 年度）】



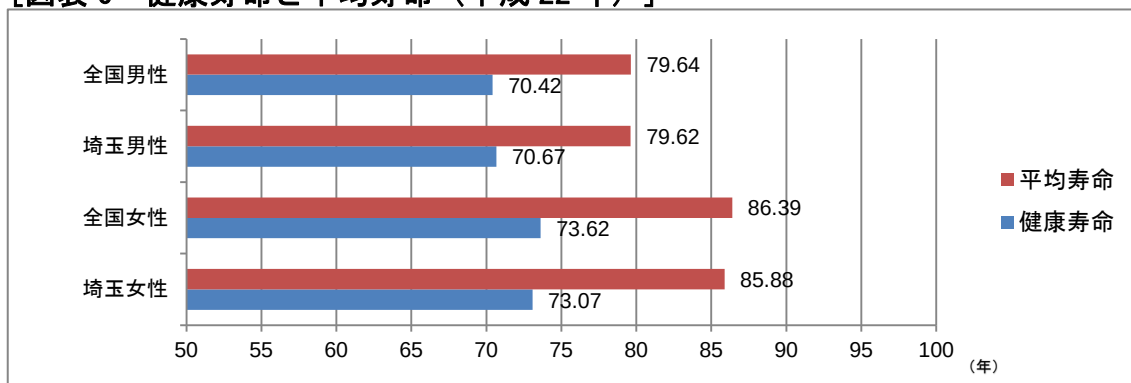
厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

4 健康寿命と平均寿命

埼玉県健康寿命※2と平均寿命は、全国平均とほぼ同じ水準です。

健康寿命は平均寿命と比べ、男性でおよそ10%、女性でおよそ15%短く、後期高齢者の生活の質を維持するために、健康寿命の延伸が必要と考えられます。

〔図表6 健康寿命と平均寿命（平成22年）〕



健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命による将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」
平均寿命は、厚生労働省「平成22年度都道府県別生命表」

〔図表7 健康寿命と平均寿命の都道府県別順位（平成22年）〕

【男性】

順位	都道府県名	健康寿命
1	愛知県	71.74 年
2	静岡県	71.68 年
3	千葉県	71.62 年
4	茨城県	71.32 年
5	山梨県	71.20 年
...	...	...
11	埼玉県	70.67 年

順位	都道府県名	平均寿命
1	長野県	80.99 年
2	滋賀県	80.68 年
3	福井県	80.52 年
4	神奈川県	80.36 年
5	熊本県	80.32 年
...	...	...
23	埼玉県	79.71 年

【女性】

順位	都道府県名	健康寿命
1	静岡県	75.32 年
2	群馬県	75.27 年
3	愛知県	74.93 年
4	沖縄県	74.86 年
5	栃木県	74.86 年
...	...	...
38	埼玉県	73.07 年

順位	都道府県名	平均寿命
1	長野県	87.23 年
2	熊本県	87.14 年
3	大分県	87.08 年
4	広島県	87.04 年
5	島根県	87.04 年
...	...	...
41	埼玉県	85.92 年

健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命による将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」
平均寿命は、厚生労働省「平成22年度都道府県別生命表」

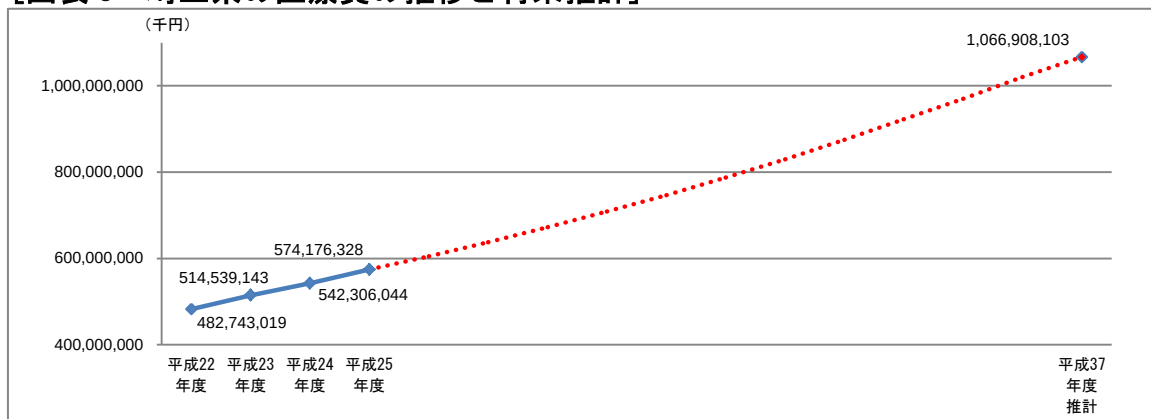
※2【健康寿命】

健康上の問題で日常生活が制限されることのない期間

5 医療費の状況

埼玉県における後期高齢者の一人当たり医療費は、全国平均の90万円台と比べると低い水準です。埼玉県の一人当たり医療費の上昇率は、毎年度1%程度ですが、被保険者数の増加により全体の医療費は毎年度約5～7%ずつ増加しており、今後も増加が見込まれます。歯科診療費については、全国平均を上回る水準ですが、入院、入院外診療費については全国平均を下回っています。

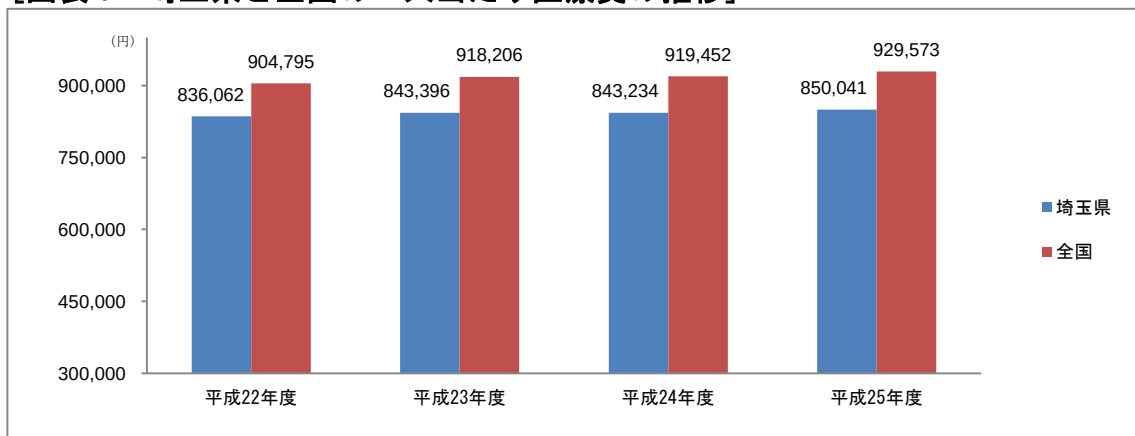
〔図表 8 埼玉県の医療費の推移と将来推計〕



平成 22～25 年度の値は、厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

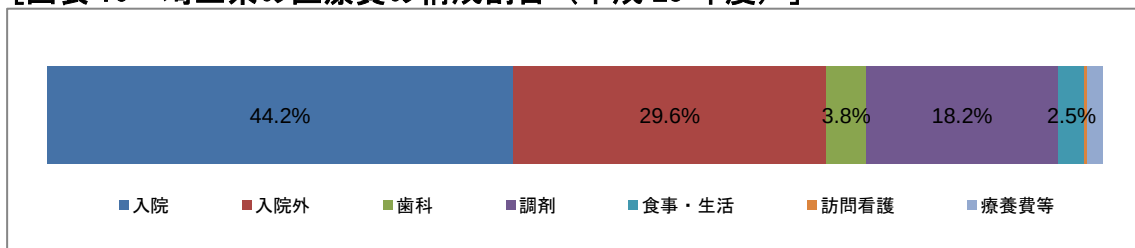
※平成 37 年度推計値は、平成 22～25 年度の一人当たり医療費平均伸び率から平成 37 年度の一人当たり医療費を 906,645 円と推計し、その値を平成 37 年度 75 歳以上人口推計値 1,176,765 人（国立社会保障・人口問題研究所「平成 25 年 3 月推計」）に乗じて算出した

〔図表 9 埼玉県と全国の一人当たり医療費の推移〕



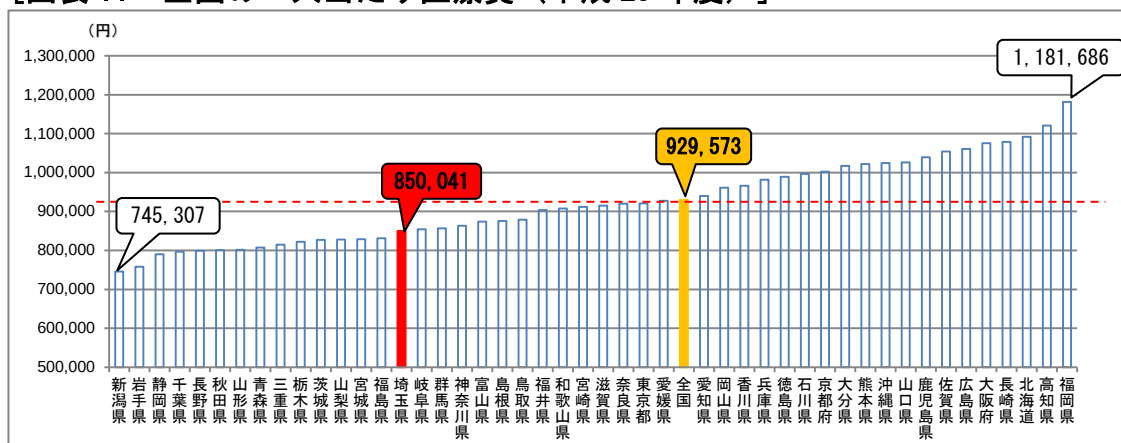
厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告年報」

〔図表 10 埼玉県の医療費の構成割合（平成 25 年度）〕



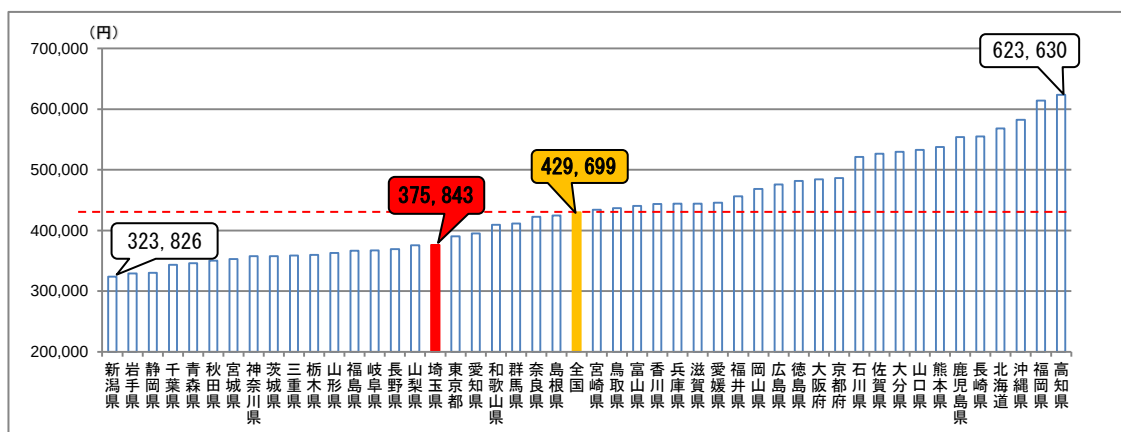
厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

〔図表 11 全国の一人当たり医療費（平成 25 年度）〕



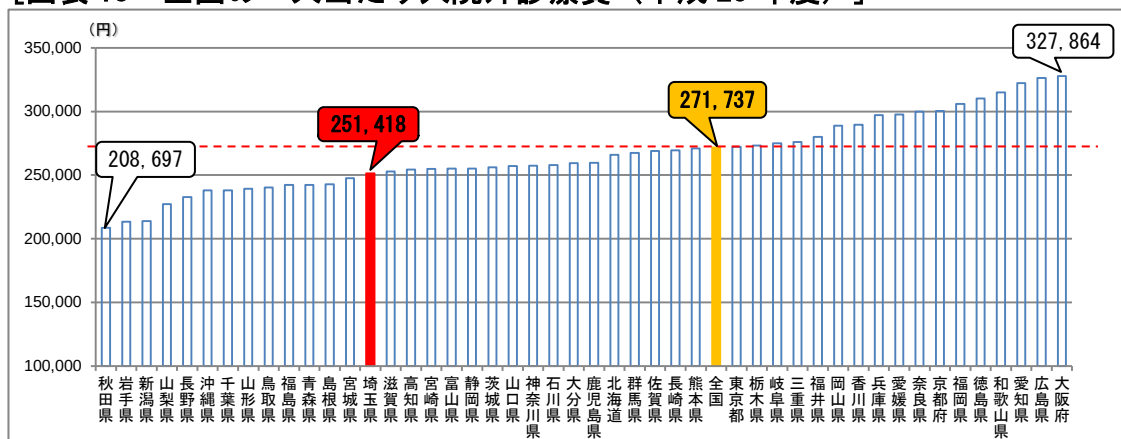
厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

〔図表 12 全国の一人当たり入院診療費（平成 25 年度）〕



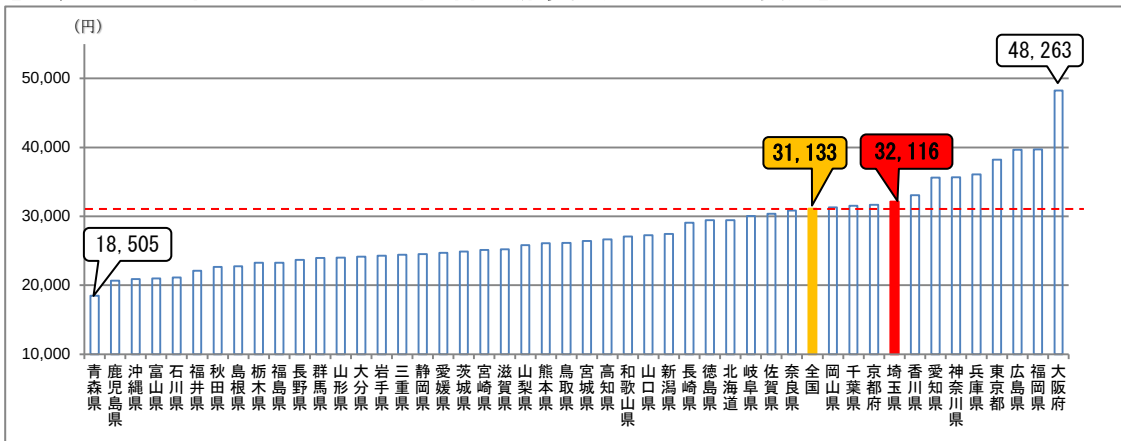
厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

〔図表 13 全国の一人当たり入院外診療費（平成 25 年度）〕



厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

〔図表 14 全国の一人当たり歯科診療費（平成 25 年度）〕



厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

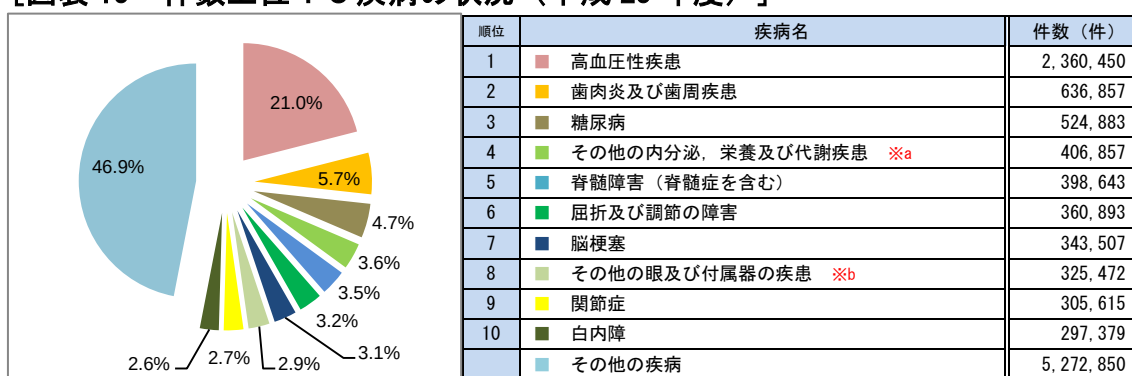
6 疾病別医療費の状況

平成25年度の埼玉県における後期高齢者の疾病状況をみると、疾病件数と医療費それぞれで上位10疾病が全体件数※3の約53%、全体費用額※4の約48%を占めています。

件数、金額ともに高血圧性疾患が最も多く、全体件数の約21%、全体費用額の約9%を占めています。

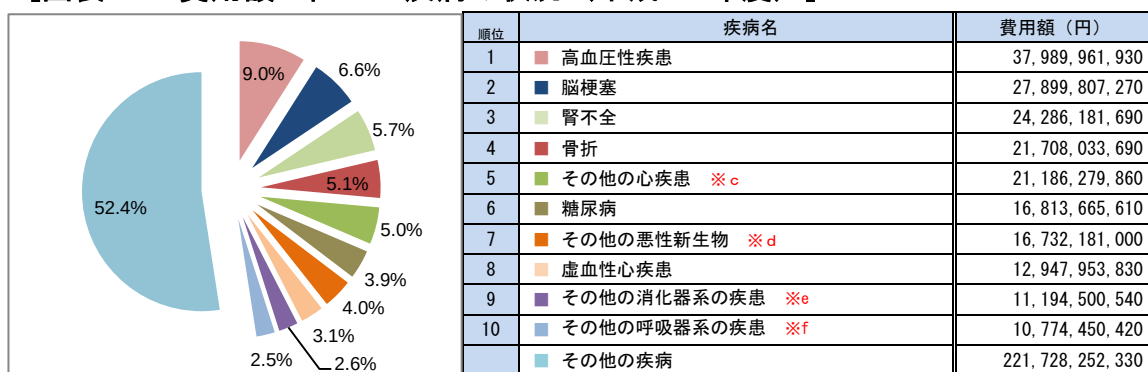
入院では脳梗塞が最も多く、入院外では高血圧性疾患が最も多くなっています。高血圧性疾患は入院でも上位に入っています。

〔図表 15 件数上位10疾病の状況（平成25年度）〕



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

〔図表 16 費用額上位10疾病の状況（平成25年度）〕



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

※3 「件数」：1年間のレセプトの件数

※4 「費用額」：10割の医療費（入院時食事療養費・生活療養費は含まない）

※a 内分泌、栄養及び代謝疾患において、大別されない疾患が「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」となっている

※b 眼及び付属器の疾患において、大別されない疾患が「その他の眼及び付属器の疾患」となっている

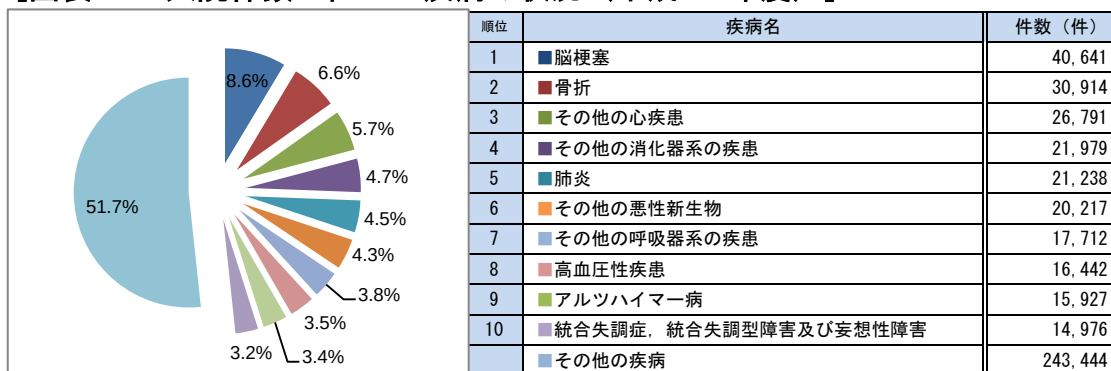
※c 虚血性心疾患に含まれない心疾患が「その他の心疾患」となっている

※d 新生物において、大別されない疾患が「その他の悪性新生物」となっている

※e 消化器系の疾患において、大別されない疾患が「その他の消化器系の疾患」となっている

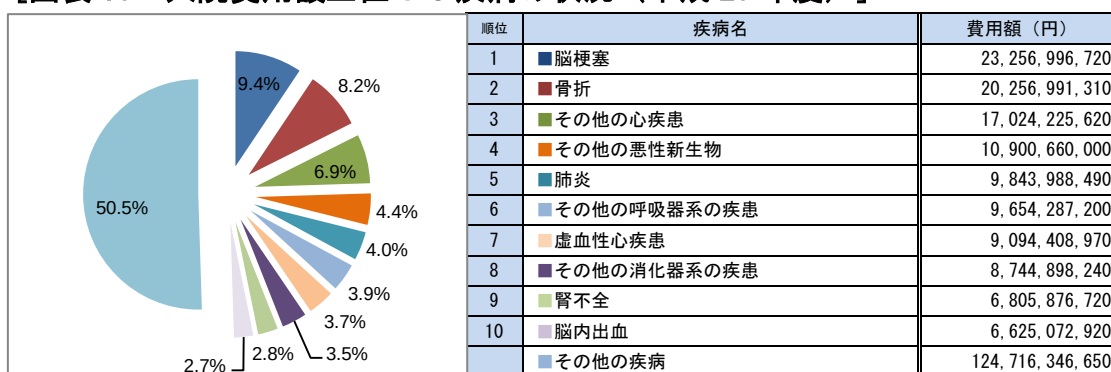
※f 呼吸器系の疾患において、大別されない疾患が「その他の呼吸器系の疾患」となっている

〔図表 17 入院件数上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）〕



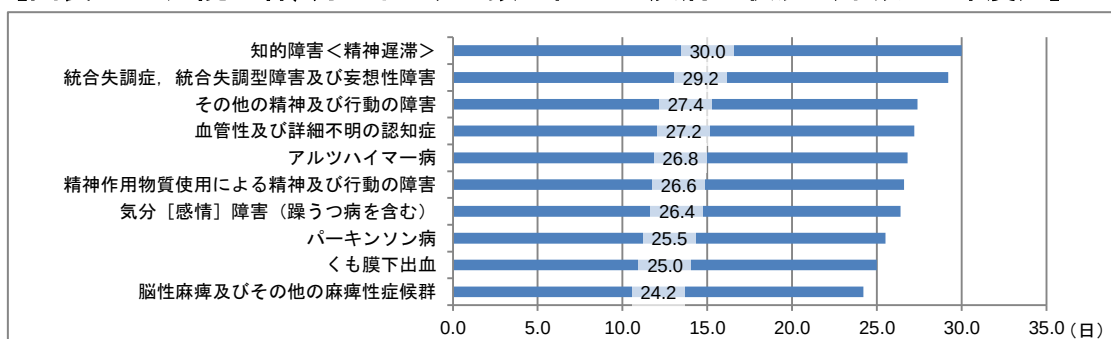
埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

〔図表 18 入院費用額上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）〕



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

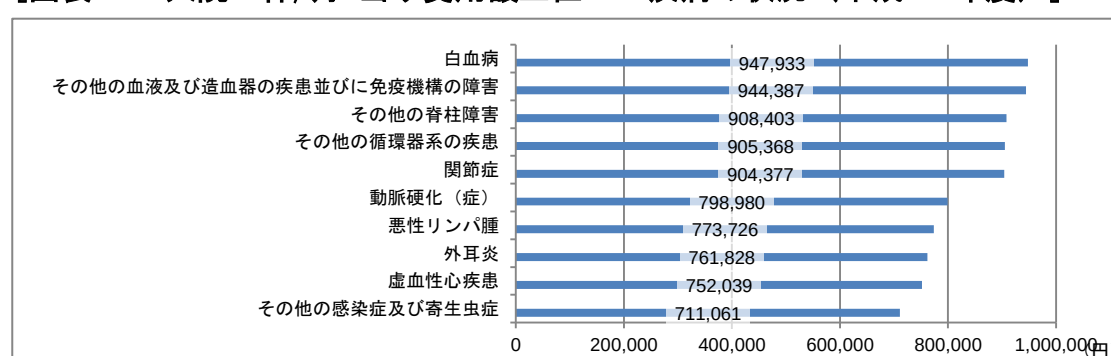
〔図表 19 入院 1 件/月 当たり日数上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）〕



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

※レセプト 1 件当たりの日数

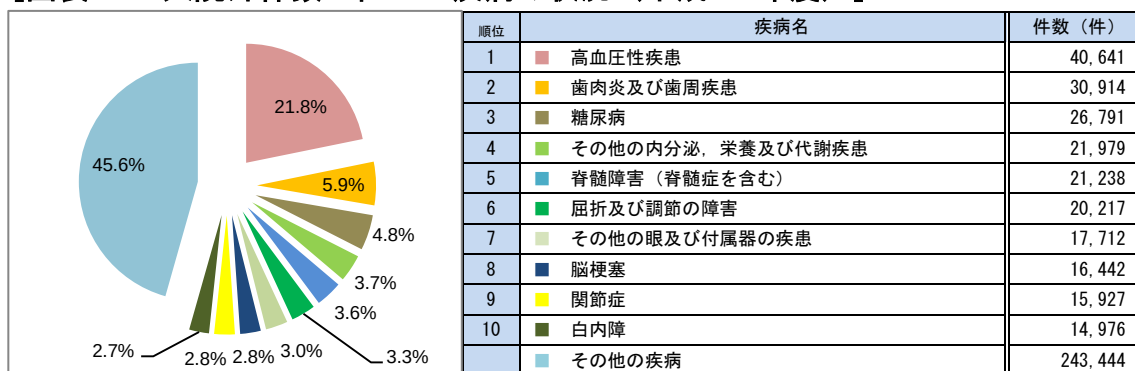
〔図表 20 入院 1 件/月 当り費用額上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）〕



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

※レセプト 1 件当たりの費用額

[図表 21 入院外件数上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）]



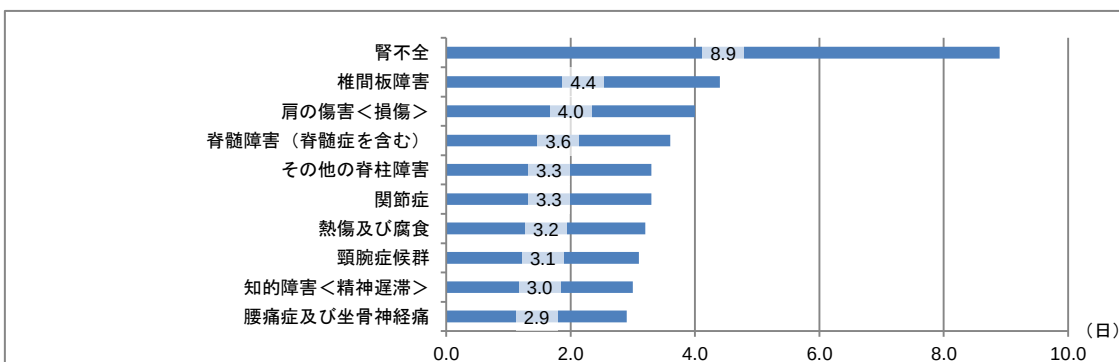
埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

[図表 22 入院外費用額上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）]



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

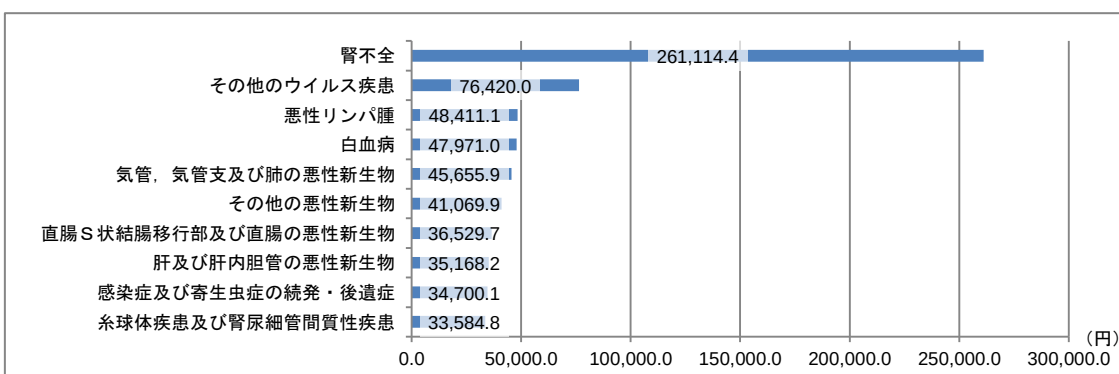
[図表 23 入院外 1 件/月 当たり日数上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）]



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

※レセプト 1 件当たりの日数

[図表 24 入院外 1 件/月 当たり費用額上位 10 疾病の状況（平成 25 年度）]



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

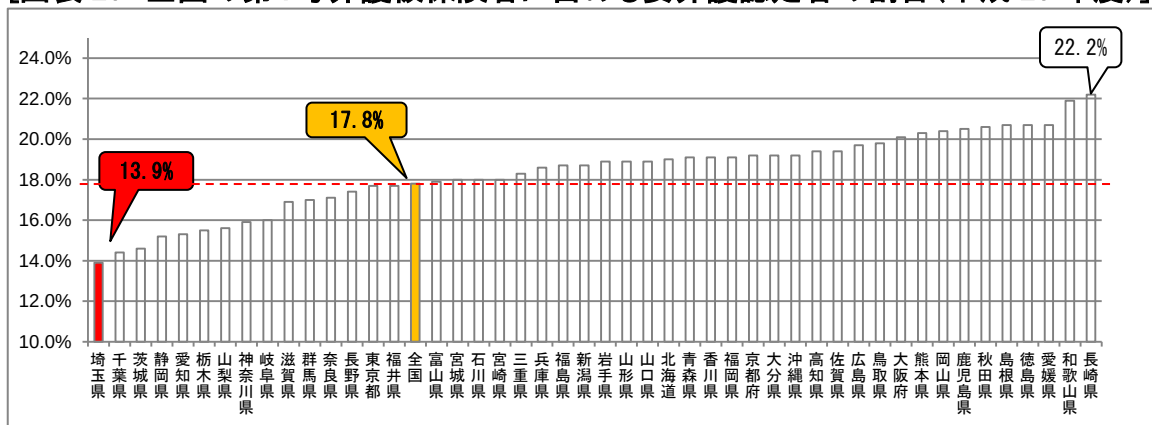
※レセプト 1 件当たりの費用額

7 介護保険の状況

埼玉県第1号介護被保険者※5に占める要介護認定者の割合は全国一低く、75歳以上の後期高齢者の要介護認定者の割合も全国で下から4番目と低い状況です。しかしながら、要介護認定者数は年々増加しており、介護保険制度がスタートした平成12年からの12年間でおよそ3倍に増加しています。

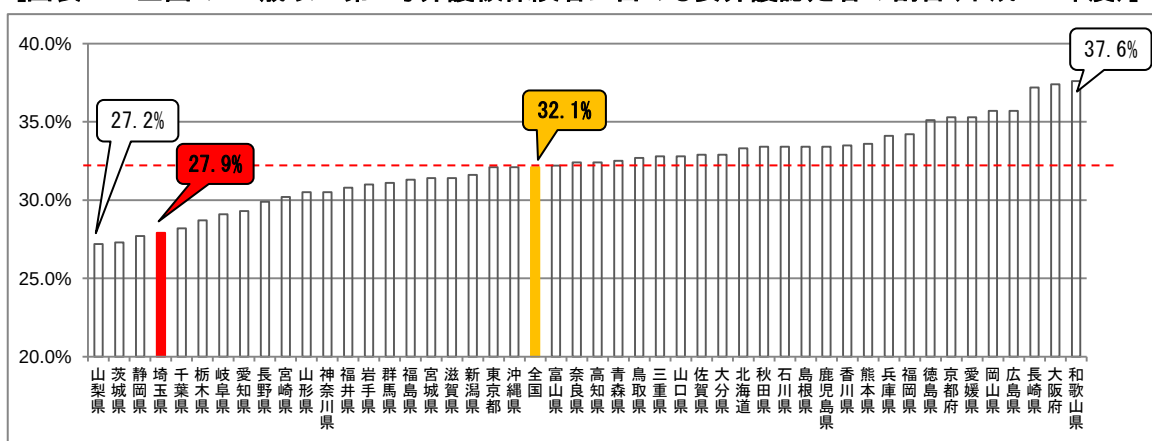
介護が必要となった主な原因としては、脳血管疾患（脳卒中）が最多で、以下認知症、高齢による衰弱、骨折・転倒、関節疾患と続きます。

[図表 25 全国の第1号介護被保険者に占める要介護認定者の割合(平成25年度)]



厚生労働省「介護保険事業状況報告」(年報)

[図表 26 全国の75歳以上第1号介護被保険者に占める要介護認定者の割合(平成25年度)]

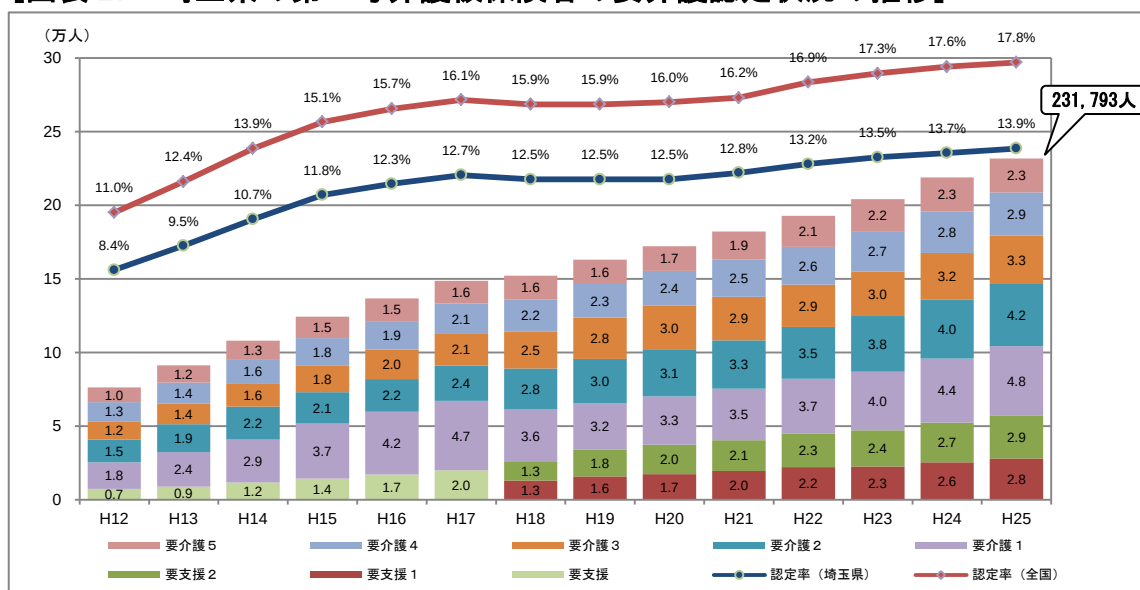


厚生労働省「介護保険事業状況報告」(年報)

※5 【1号介護被保険者】

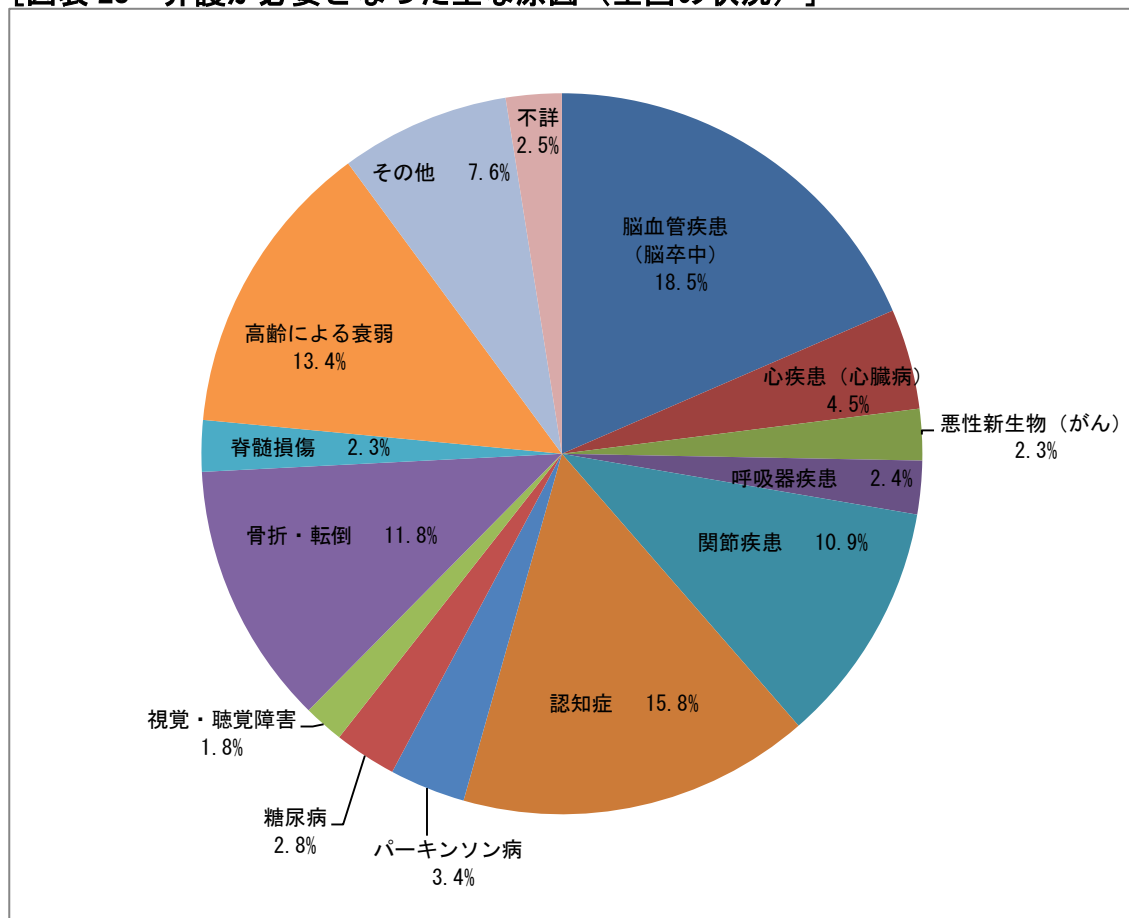
65歳以上の介護保険被保険者

〔図表 27 埼玉県第 1 号介護被保険者の要介護認定状況の推移〕



厚生労働省「介護保険事業状況報告」（年報）

〔図表 28 介護が必要となった主な原因（全国状況）〕



厚生労働省「平成 25 年度国民生活基礎調査」

第3章 埼玉県の市町村における後期高齢者医療の現状と評価



1 人口将来推計

県内市町村の人口は、今後も増加すると推計される市町が少数あるものの、多くの市町村で今後数年をピークに減少すると推計されています。平成22年と30年後の平成52年を比較した人口30万人以上の5市の人口減少率の平均は約7%、人口10万人以上30万人未満の17市では平均約14%、人口5万人以上10万人未満の18市では平均約18%、人口5万人未満の23町村では平均約27%と推計されています。

人口規模が大きい市町村では減少率が小さく、人口規模が小さい市町村で減少率が大きいと推計されており、市街地への人口集中が進むものと推測されます。

〔図表 29 県内市町村の人口将来推計〕

(单位:人)

	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 52 年
さいたま市	1, 222, 434	1, 245, 165	1, 248, 818	1, 240, 702	1, 223, 414	1, 198, 798	1, 168, 491
川越市	342, 670	345, 972	344, 504	339, 491	331, 666	321, 838	310, 940
熊谷市	203, 180	199, 180	193, 812	186, 960	178, 934	170, 006	160, 453
川口市	500, 598	571, 613	572, 928	568, 640	560, 448	549, 589	536, 902
行田市	85, 786	82, 395	78, 906	74, 896	70, 479	65, 770	60, 879
秩父市	66, 955	63, 105	59, 445	55, 625	51, 856	48, 163	44, 535
所沢市	341, 924	344, 022	342, 018	336, 671	328, 645	318, 576	307, 238
飯能市	83, 549	81, 682	79, 214	76, 165	72, 595	68, 626	64, 389
加須市	115, 002	112, 904	109, 995	106, 351	102, 067	97, 120	91, 515
本庄市	81, 889	80, 422	78, 215	75, 459	72, 329	68, 894	65, 186
東松山市	90, 099	88, 159	85, 733	82, 633	78, 948	74, 753	70, 258
春日部市	237, 171	233, 459	227, 678	219, 290	208, 806	196, 988	184, 796
狭山市	155, 727	152, 908	149, 038	143, 629	136, 954	129, 382	121, 481
羽生市	56, 204	54, 911	53, 285	51, 313	49, 082	46, 640	44, 039
鴻巣市	119, 639	118, 191	115, 686	112, 119	107, 633	102, 406	96, 708
深谷市	144, 618	141, 303	137, 333	132, 405	126, 719	120, 355	113, 516
上尾市	223, 926	224, 299	221, 963	217, 124	210, 430	202, 589	194, 299
草加市	243, 855	246, 973	246, 628	243, 443	238, 079	231, 396	224, 004

〔図表 29 県内市町村の人口将来推計（つづき）〕

（単位：人）

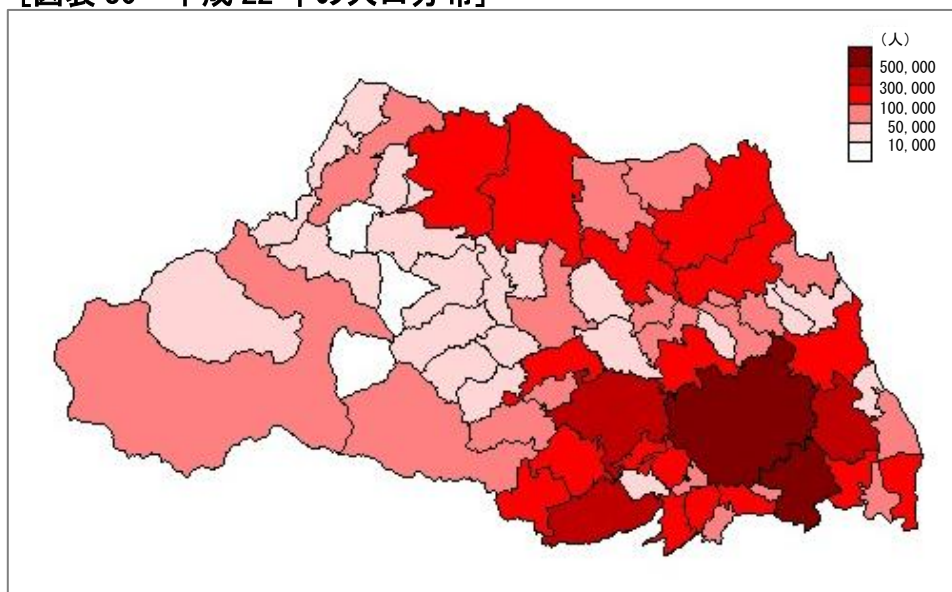
	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 52 年
越谷市	326,313	330,664	330,130	325,862	318,720	309,701	299,760
蕨市	71,502	71,606	69,372	66,653	63,648	60,404	56,993
戸田市	123,079	127,042	129,222	130,317	130,630	130,232	129,053
入間市	149,872	149,238	147,003	143,217	138,174	132,182	125,620
朝霞市	129,691	132,388	133,447	133,286	132,291	130,640	128,399
志木市	69,611	70,612	70,584	69,777	68,354	66,536	64,492
和光市	80,745	83,373	84,866	85,638	85,908	85,686	84,922
新座市	158,777	161,585	161,945	160,596	157,970	154,550	150,719
桶川市	74,711	74,569	73,472	71,578	69,066	66,201	63,182
久喜市	154,310	151,997	148,403	143,312	136,914	129,454	121,383
北本市	68,888	67,257	65,201	62,367	58,916	55,067	51,083
八潮市	82,977	82,778	81,746	79,705	76,888	73,654	70,342
富士見市	106,736	107,205	106,444	104,534	101,769	98,453	94,892
三郷市	131,415	128,171	124,390	119,205	112,849	105,709	98,271
蓮田市	63,309	62,341	60,756	58,519	55,801	52,761	49,638
坂戸市	101,700	102,869	102,565	101,131	98,658	95,389	91,764
幸手市	54,012	51,722	49,333	46,454	43,152	39,546	35,935
鶴ヶ島市	69,990	69,757	69,030	67,568	65,403	62,685	59,631
日高市	57,473	56,924	55,849	54,139	51,877	49,252	46,483
吉川市	65,298	68,669	70,585	71,732	72,269	72,351	72,144
ふじみ野市	105,695	107,336	107,240	105,904	103,705	101,062	98,242
白岡市	50,272	50,795	50,510	49,690	48,458	46,893	45,138
伊奈町	42,494	44,781	46,188	47,068	47,563	47,772	47,871
三芳町	38,706	39,418	39,496	39,098	38,363	37,452	36,514
毛呂山町	39,054	38,483	37,542	36,275	34,735	33,032	31,238
越生町	12,537	11,776	11,070	10,301	9,505	8,684	7,873
滑川町	17,323	18,340	18,927	19,366	19,672	19,860	19,943
嵐山町	18,887	18,209	17,465	16,579	15,554	14,427	13,253
小川町	32,913	30,540	28,361	26,107	23,788	21,390	18,914
川島町	22,147	21,257	20,329	19,283	18,105	16,823	15,465
吉見町	21,079	19,887	18,715	17,438	16,110	14,715	13,247
鳩山町	15,305	14,665	13,934	13,069	12,094	11,036	9,949
ときがわ町	12,418	11,548	10,729	9,900	9,058	8,207	7,320
横瀬町	9,039	8,413	7,847	7,269	6,690	6,121	5,568
皆野町	10,888	10,182	9,525	8,856	8,200	7,541	6,893
長瀨町	7,908	7,421	6,929	6,411	5,893	5,378	4,875
小鹿野町	13,436	12,497	11,623	10,766	9,924	9,117	8,320
東秩父村	3,348	2,998	2,680	2,393	2,128	1,868	1,622
美里町	11,605	11,096	10,564	10,005	9,419	8,815	8,172
神川町	14,470	13,889	13,308	12,683	12,022	11,311	10,542
上里町	30,998	30,707	30,223	29,523	28,656	27,634	26,442
寄居町	35,774	34,252	32,662	30,887	28,974	26,958	24,862
宮代町	33,641	32,539	31,291	29,723	27,890	25,898	23,921
杉戸町	46,923	46,529	45,617	44,203	42,368	40,213	37,936
松伏町	31,153	31,026	30,559	29,743	28,689	27,470	26,152

平成 22 年は総務省「国勢調査」、平成 27 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」

※鳩ヶ谷市は平成 23 年に川口市と合併、平成 22 年の鳩ヶ谷市 60,908 人は川口市に加算

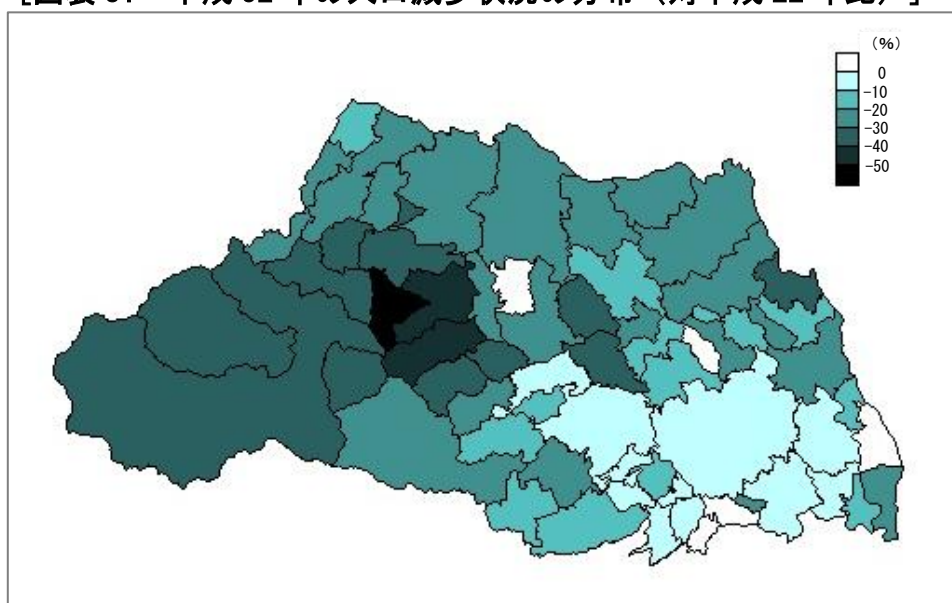
※白岡町は平成 24 年に市制施行、表中では白岡市と標記

[図表 30 平成 22 年の人口分布]



総務省「平成 22 年度 国勢調査」

[図表 31 平成 52 年の人口減少状況の分布（対平成 22 年比）]



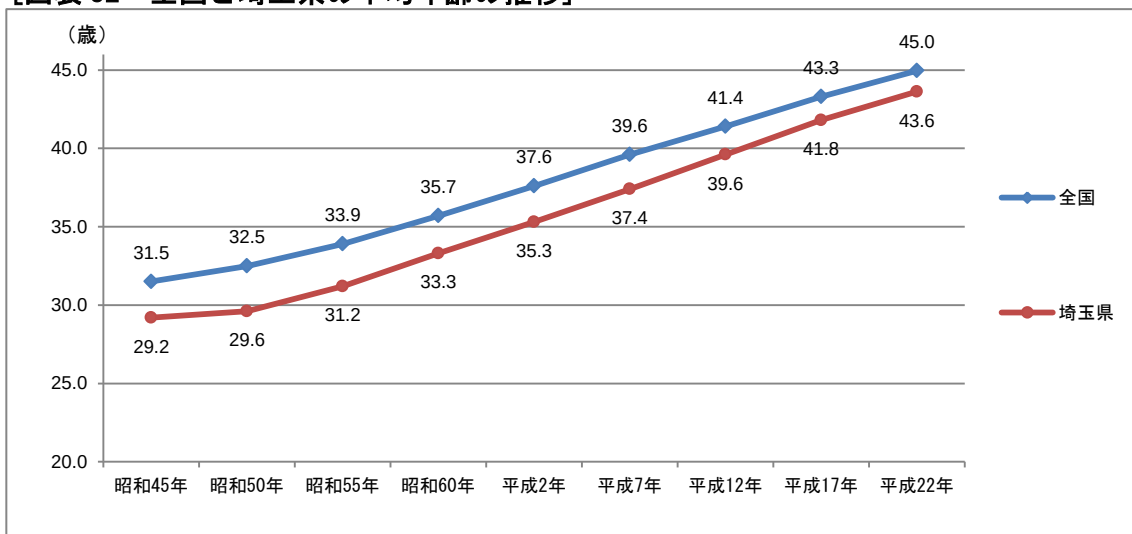
※平成 22 年の人口と平成 52 年の推計人口を比較した人口減少状況の推計（平成 22 年は総務省「国勢調査」、平成 52 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」より）

2 平均年齢

平成22年国勢調査によると、埼玉県の平均年齢は43.6歳で、全国の平均年齢45.0歳より1.4歳低く、全国で5番目に低い水準でした。しかし、かつては若い県と言われていた埼玉県においても少子高齢化の進行により昭和45年には20歳台だった平均年齢が、平成22年には40歳台まで上昇しており、年々全国の平均年齢との差が縮まっています。

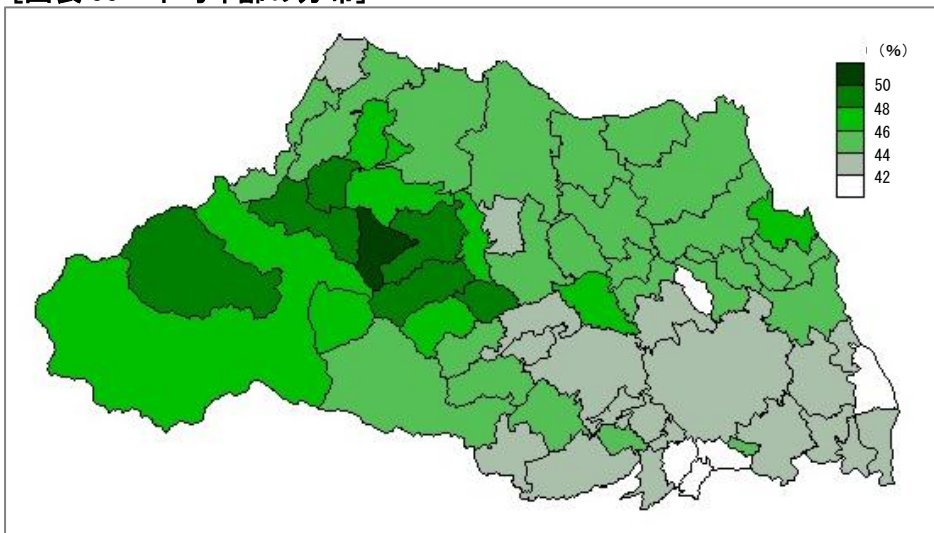
市町村別では、比企郡、大里郡、秩父郡の町村の平均年齢が概ね高くなっています。

[図表 32 全国と埼玉県の平均年齢の推移]



総務省「国勢調査」

[図表 33 平均年齢の分布]



総務省「国勢調査」(平成22年)

〔図表 34 県内各市町村の平均年齢（平成 22 年）〕

順位	市町村	平均年齢 （歳）	順位	市町村	平均年齢 （歳）	順位	市町村	平均年齢 （歳）	順位	市町村	平均年齢 （歳）
1	和光市	39.6	17	松伏町	43.2	33	久喜市	44.6	49	宮代町	45.9
2	戸田市	39.7	18	上尾市	43.5	34	桶川市	44.6	50	川島町	46.1
3	伊奈町	40.4	19	坂戸市	43.5	35	春日部市	44.7	51	嵐山町	46.1
4	朝霞市	41.1	20	三郷市	43.5	36	熊谷市	44.7	52	幸手市	46.2
5	吉川市	41.5	21	ふじみ野市	43.6	37	加須市	44.7	53	寄居町	46.4
6	滑川町	42.4	22	入間市	43.6	38	毛呂山町	44.8	54	横瀬町	46.8
7	鶴ヶ島市	42.5	23	鳩ヶ谷市	43.6	39	杉戸町	44.8	55	美里町	46.9
8	八潮市	42.6	24	川越市	43.7	40	日高市	44.8	56	越生町	46.9
9	草加市	42.7	25	所沢市	43.7	41	神川町	45.1	57	秩父市	47.3
10	川口市	42.7	26	東松山市	44.0	42	狭山市	45.1	58	小川町	48.0
11	さいたま市	42.8	27	蕨市	44.1	43	行田市	45.3	59	ときがわ町	48.4
12	志木市	42.9	28	白岡町	44.1	44	本庄市	45.4	60	小鹿野町	48.8
13	上里町	42.9	29	三芳町	44.4	45	羽生市	45.4	61	長瀨町	49.0
14	越谷市	43.0	30	深谷市	44.4	46	蓮田市	45.5	62	皆野町	49.0
15	富士見市	43.0	31	鴻巣市	44.5	47	吉見町	45.7	63	鳩山町	49.8
16	新座市	43.2	32	北本市	44.6	48	飯能市	45.9	64	東秩父村	51.1

総務省「国勢調査」（平成 22 年）

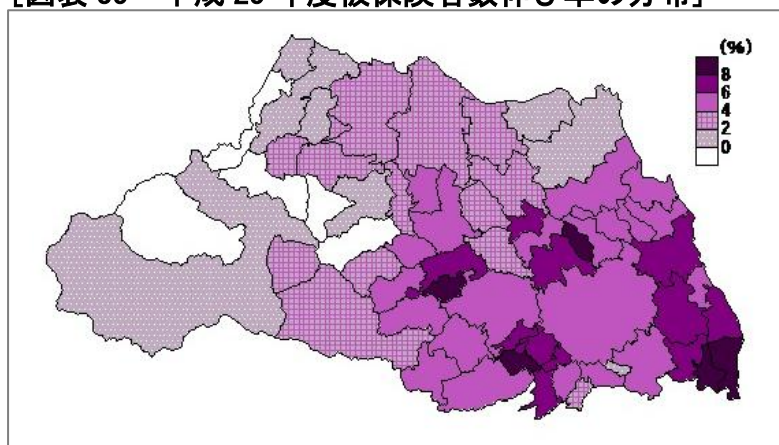
※ 23 位 鳩ヶ谷市は平成 23 年に川口市と合併

3 被保険者数の状況

平成25年度の埼玉県後期高齢者医療被保険者数伸び率は、4.3%と全国1位となっており、毎年度約4%から5%の高い値で被保険者が増加しています。

市町村ごとの状況は、東京都に近く、人口が多い市の伸び率が高く、秩父地域等では伸び率が低い状況です。また、人口が少ない町村では、町村人口に占める被保険者の割合が増大しており、一部の町村では平成52年までに75歳以上人口が町・村人口の30%を上回ると推計されています。

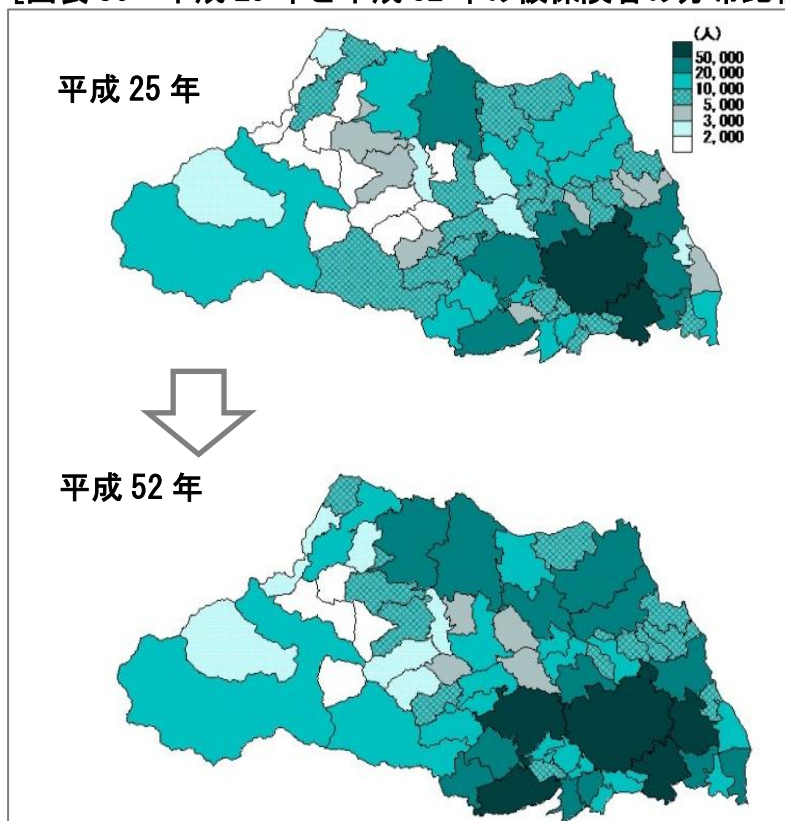
[図表 35 平成25年度被保険者数伸び率の分布]



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

※平成24年度末と平成25年度末の被保険者数を比較した伸び率の分布

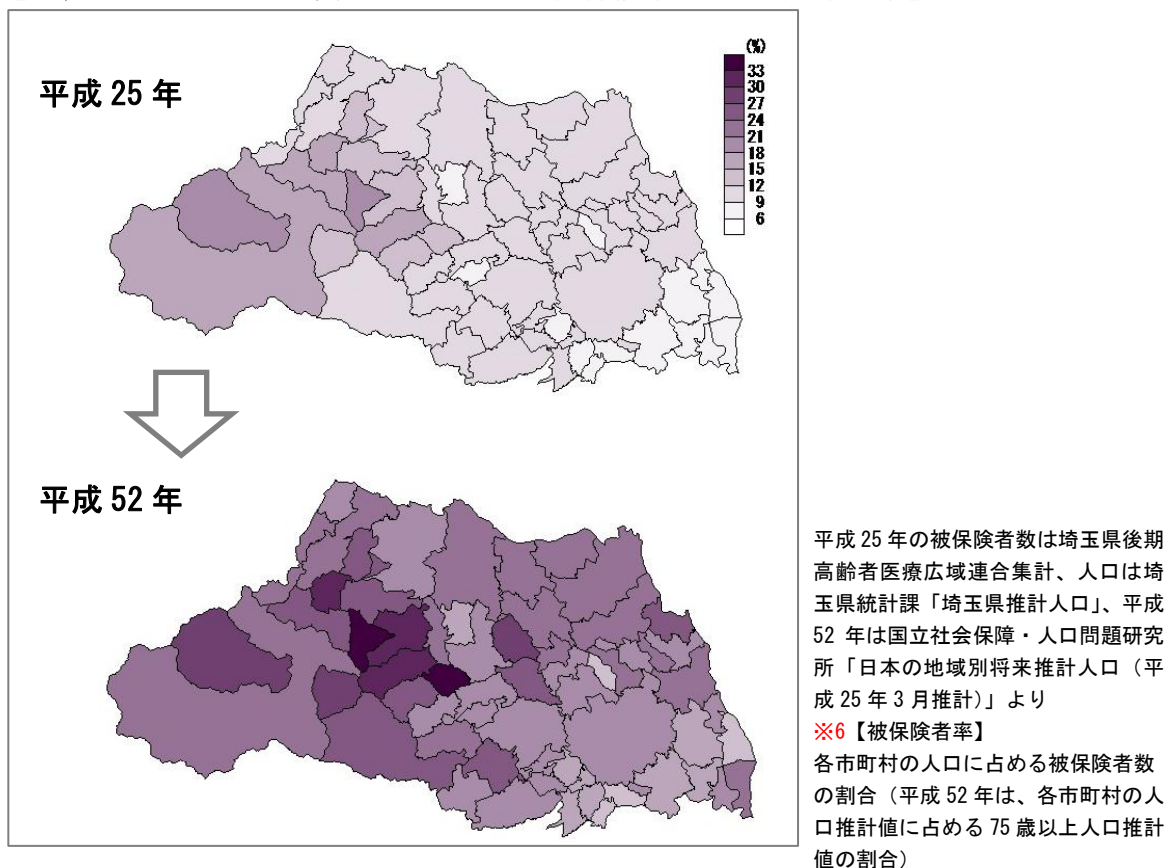
[図表 36 平成25年と平成52年の被保険者の分布比較]



平成25年は埼玉県後期高齢者医療広域連合集計、平成52年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」より

※平成52年は75歳以上人口の推計値

[図表 37 平成 25 年度と平成 52 年の被保険者率※6 の分布比較]



[図表 38 県内市町村の被保険者数の推移]

(単位：人)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
さいたま市	88,797	93,323	98,710	103,769	109,159	113,694
川越市	24,878	26,335	28,017	29,595	31,346	32,859
熊谷市	19,289	19,886	20,499	21,110	21,946	22,499
川口市	32,246	34,478	36,892	45,124	47,945	50,165
鳩ヶ谷市	4,945	5,224	5,578	(平成 23 年度に川口市と合併)		
行田市	8,692	8,852	9,165	9,349	9,588	9,752
秩父市	9,408	9,670	9,854	9,999	10,189	10,221
所沢市	24,922	26,449	28,125	29,882	31,856	33,342
飯能市	8,037	8,234	8,539	8,812	9,072	9,240
加須市	6,282	11,365	11,708	11,961	12,282	12,318
騎西町	2,030	(平成 21 年度に加須市と合併)				
北川辺町	1,177	(平成 21 年度に加須市と合併)				
大利根町	1,602	(平成 21 年度に加須市と合併)				
本庄市	8,218	8,410	8,634	8,760	8,968	9,116
東松山市	7,370	7,648	8,032	8,312	8,672	8,969
春日部市	16,705	17,824	19,157	20,519	21,971	23,250
狭山市	11,849	12,502	13,354	14,069	14,930	15,750
羽生市	5,857	5,996	6,242	6,353	6,565	6,582
鴻巣市	9,653	10,069	10,637	11,084	11,636	11,995
深谷市	13,702	14,189	14,578	14,886	15,319	15,522
上尾市	15,841	16,936	18,316	19,599	21,093	22,293
草加市	14,840	15,957	17,227	18,496	19,924	21,094
越谷市	20,119	21,640	23,498	25,227	27,285	29,053
蕨市	6,190	6,426	6,743	6,969	7,170	7,343
戸田市	5,945	6,306	6,682	7,153	7,574	7,924

〔図表 38 県内市町村の被保険者数の推移（つづき）〕

（単位：人）

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
入間市	10,889	11,469	12,152	12,754	13,630	14,368
朝霞市	7,340	7,812	8,383	8,964	9,618	10,118
志木市	4,629	5,015	5,387	5,770	6,205	6,549
和光市	4,017	4,303	4,607	4,916	5,137	5,346
新座市	10,272	11,016	11,949	12,869	13,904	14,724
桶川市	5,906	6,268	6,706	7,136	7,620	7,986
久喜市	5,690	12,877	13,465	14,090	14,798	15,395
菖蒲町	2,147	（平成 21 年度に久喜市と合併）				
栗橋町	2,276	（平成 21 年度に久喜市と合併）				
鷺宮町	2,142	（平成 21 年度に久喜市と合併）				
北本市	5,046	5,330	5,744	6,143	6,577	7,045
八潮市	4,494	4,832	5,228	5,609	6,021	6,518
富士見市	6,793	7,326	7,905	8,377	9,056	9,618
三郷市	7,458	7,956	8,539	9,244	9,963	10,660
蓮田市	5,279	5,561	5,938	6,282	6,650	6,960
坂戸市	6,921	7,337	7,775	8,270	8,780	9,295
幸手市	4,332	4,567	4,815	5,065	5,280	5,485
鶴ヶ島市	3,850	4,078	4,363	4,667	5,003	5,329
日高市	4,446	4,667	4,860	5,084	5,381	5,632
吉川市	3,572	3,816	4,029	4,309	4,649	4,893
ふじみ野市	7,452	8,011	8,716	9,393	10,133	10,680
白岡町 （平成 24 年度に市制施行）	3,886	4,083	4,346	4,577	4,840	5,080
伊奈町	2,236	2,342	2,508	2,678	2,909	3,108
三芳町	2,319	2,541	2,771	2,981	3,260	3,504
毛呂山町	3,070	3,199	3,366	3,505	3,712	3,810
越生町	1,489	1,519	1,520	1,522	1,565	1,583
滑川町	1,285	1,331	1,373	1,392	1,446	1,499
嵐山町	1,848	1,872	1,933	2,009	2,104	2,164
小川町	4,017	4,133	4,277	4,368	4,457	4,540
川島町	2,167	2,232	2,292	2,339	2,395	2,458
吉見町	2,073	2,117	2,168	2,219	2,267	2,298
鳩山町	1,597	1,610	1,667	1,741	1,831	1,897
ときがわ町	1,685	1,714	1,728	1,784	1,799	1,809
横瀬町	1,162	1,176	1,220	1,216	1,261	1,270
皆野町	1,706	1,724	1,744	1,763	1,767	1,766
長瀬町	1,183	1,180	1,206	1,200	1,225	1,234
小鹿野町	2,246	2,253	2,242	2,248	2,263	2,271
東秩父村	634	617	598	607	589	589
美里町	1,495	1,520	1,542	1,539	1,569	1,594
神川町	1,581	1,613	1,630	1,620	1,651	1,664
上里町	2,646	2,711	2,769	2,804	2,867	2,886
寄居町	4,055	4,129	4,245	4,309	4,389	4,480
宮代町	2,774	2,927	3,149	3,422	3,598	3,825
杉戸町	3,607	3,784	3,985	4,233	4,483	4,671
松伏町	2,047	2,123	2,242	2,376	2,530	2,666
計	536,353	564,410	597,269	628,422	663,672	692,248

埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

※各年度末の被保険者数

〔図表 39 県内市町村の 75 歳以上人口将来推計〕

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 32 年度	平成 37 年度	平成 42 年度	平成 47 年度	平成 52 年度
さいたま市	126,829	158,353	190,612	200,243	202,142	211,494
川越市	36,993	47,883	58,194	60,043	57,351	56,293
熊谷市	23,406	27,422	32,683	34,993	34,657	33,694
川口市	55,686	69,277	81,280	82,551	79,528	82,081
行田市	10,000	11,643	14,176	15,160	14,780	13,972
秩父市	10,109	10,349	11,050	11,307	10,990	10,515
所沢市	37,974	49,084	59,717	63,185	62,260	63,106
飯能市	10,566	12,642	15,491	16,851	16,816	16,550
加須市	12,664	14,522	18,116	20,510	21,053	20,249
本庄市	10,236	11,453	13,479	14,411	14,434	14,230
東松山市	9,257	11,326	14,055	15,392	15,243	14,427
春日部市	25,976	34,923	43,053	44,363	41,176	38,981
狭山市	18,183	24,299	30,157	31,808	30,516	29,211
羽生市	6,701	7,500	8,970	9,663	9,649	9,250
鴻巣市	12,937	16,326	20,462	22,293	22,148	21,503
深谷市	16,221	18,880	23,050	25,014	24,460	23,201
上尾市	23,829	31,345	37,340	38,316	36,522	36,194
草加市	24,003	31,972	38,644	39,084	36,856	37,629
越谷市	32,863	43,958	53,382	55,057	52,596	52,384
蕨市	7,866	9,108	10,365	10,558	10,433	10,623
戸田市	9,208	11,647	14,031	15,001	15,609	17,788
入間市	15,597	20,254	25,322	27,427	26,927	26,307
朝霞市	11,595	14,555	17,345	18,192	18,399	20,272
志木市	7,110	9,241	11,239	11,622	11,196	11,206
和光市	6,191	7,681	9,583	10,326	10,517	11,468
新座市	16,841	22,261	26,750	27,363	26,350	26,740
桶川市	8,647	11,017	13,128	13,565	13,015	12,722
久喜市	16,158	20,541	26,217	28,620	27,898	26,387
北本市	7,659	10,117	12,394	12,940	12,392	11,786
八潮市	8,018	11,188	13,730	13,956	13,089	12,860
富士見市	11,223	14,790	17,486	17,528	16,651	16,842
三郷市	12,137	17,348	22,704	24,060	22,794	21,243
蓮田市	7,713	9,936	12,016	12,409	11,514	10,700
坂戸市	10,298	14,364	18,284	19,349	18,290	17,249
幸手市	6,116	8,099	10,124	10,705	9,959	8,799
鶴ヶ島市	6,003	8,774	11,763	12,780	12,295	11,645
日高市	6,474	8,766	11,281	12,173	11,468	10,556
吉川市	5,477	7,743	10,283	11,046	10,678	10,372
ふじみ野市	12,501	15,952	18,498	18,499	17,604	17,967
白岡市	5,480	7,037	8,485	9,031	8,932	8,859
伊奈町	3,524	5,150	6,634	7,043	6,741	6,632
三芳町	4,620	6,315	7,588	7,745	7,385	7,322
毛呂山町	4,428	5,778	6,946	7,282	6,873	6,391
越生町	1,562	1,788	2,131	2,264	2,179	2,035
滑川町	1,756	2,117	2,682	3,046	3,117	3,095
嵐山町	2,203	2,708	3,338	3,477	3,291	2,986
小川町	4,354	4,837	5,814	6,553	6,558	5,973
川島町	2,698	3,118	4,002	4,528	4,414	4,052
吉見町	2,437	2,817	3,539	4,018	4,085	3,956
鳩山町	2,194	2,963	3,889	4,206	4,041	3,556
ときがわ町	1,746	1,874	2,254	2,500	2,575	2,414
横瀬町	1,314	1,373	1,488	1,580	1,549	1,527
皆野町	1,736	1,784	1,965	2,085	2,001	1,844
長瀨町	1,315	1,457	1,597	1,621	1,556	1,481
小鹿野町	2,249	2,211	2,305	2,493	2,479	2,298
東秩父村	586	576	617	676	649	580
美里町	1,591	1,646	1,903	2,061	2,073	2,007

〔図表 39 県内市町村の 75 歳以上人口将来推計（つづき）〕 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 32 年度	平成 37 年度	平成 42 年度	平成 47 年度	平成 52 年度
神川町	1,704	1,830	2,146	2,399	2,413	2,370
上里町	3,031	3,540	4,517	5,089	5,193	5,057
寄居町	4,642	5,271	6,214	6,653	6,637	6,306
宮代町	4,156	5,428	6,498	6,650	6,098	5,576
杉戸町	5,066	6,816	8,483	8,967	8,459	7,936
松伏町	3,172	4,163	5,276	5,653	5,483	5,282
計	764,829	969,136	1,176,765	1,235,983	1,205,036	1,198,031

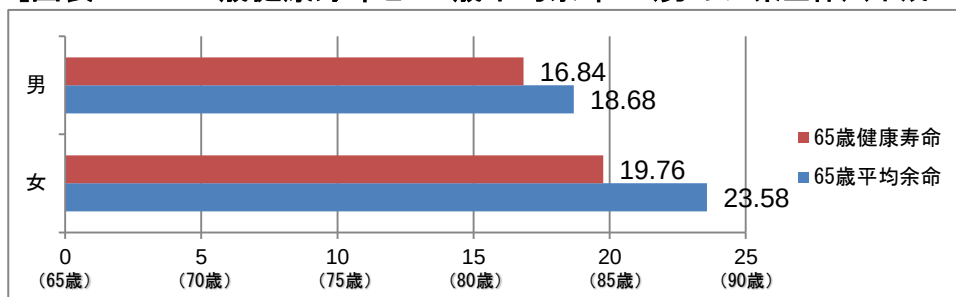
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」より

4 65歳健康寿命※7

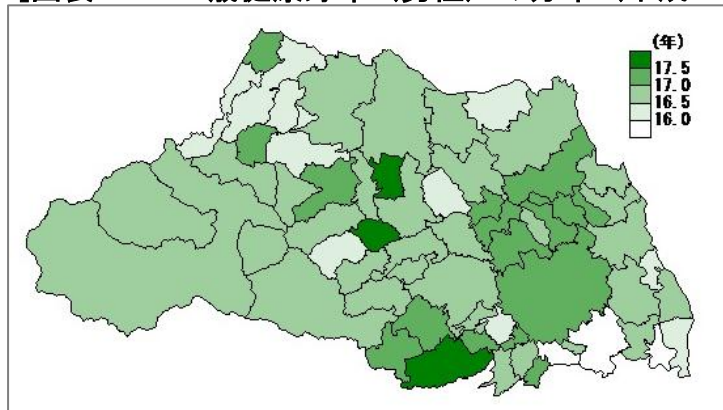
埼玉県全体の65歳健康寿命は、65歳平均余命と比較して、男性が約1.8年、女性が約3.8年短くなっています。

この年数が、介護を要する期間と考えられます。

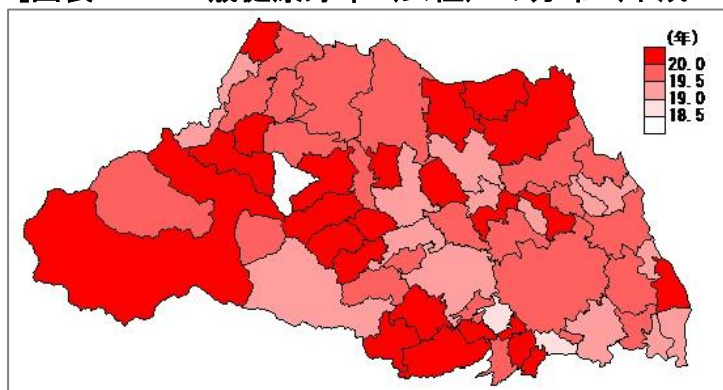
〔図表 40 65歳健康寿命と65歳平均余命※8(男・女 県全体)(平成24年度)〕



〔図表 41 65歳健康寿命（男性）の分布（平成24年度）〕



〔図表 42 65歳健康寿命（女性）の分布（平成24年度）〕



図表 40 から 42 は、平成 24 年埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」（県総務部統計課「統計からみた埼玉各市町村のすがた 2015」から抜粋）

※7 【65歳健康寿命】の定義（埼玉県）

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

埼玉県では、65歳に達した人が介護保険制度「要介護2」以上に認定されるまでの期間を健康寿命としている。

（厚生労働省による都道府県別健康寿命とは算出方法が異なる）

※8 【65歳平均余命】

65歳に達した人が生存できる年数（65歳平均余命から健康寿命を差引いた年数が要介護期間となる）。

〔図表 43 県内市町村別健康寿命と 65 歳平均余命（平成 24 年度）〕

【男性】

順位		65 歳健康寿命 (年)	65 歳平均余命 (年)	順位		65 歳健康寿命 (年)	65 歳平均余命 (年)	順位		65 歳健康寿命 (年)	65 歳平均余命 (年)
1	鳩山町	17.76	19.44	22	日高市	16.96	18.63	43	小鹿野町	16.64	18.55
2	滑川町	17.72	19.56	23	越谷市	16.96	18.66	44	伊奈町	16.63	18.76
3	所沢市	17.52	19.11	24	飯能市	16.94	18.71	45	深谷市	16.62	18.52
4	志木市	17.47	18.86	25	川島町	16.94	18.84	46	春日部市	16.59	18.57
5	入間市	17.45	19.03	26	秩父市	16.93	18.38	47	ときがわ町	16.59	18.57
6	長瀬町	17.34	18.56	27	鶴ヶ島市	16.92	18.85	48	熊谷市	16.56	18.40
7	白岡市	17.34	19.01	28	杉戸町	16.91	18.89	49	嵐山町	16.52	18.40
8	狭山市	17.32	19.13	29	朝霞市	16.89	18.63	50	蕨市	16.52	18.14
9	北本市	17.32	19.28	30	東松山市	16.87	18.81	51	寄居町	16.45	18.62
10	蓮田市	17.29	19.12	31	吉川市	16.85	18.58	52	羽生市	16.45	17.98
11	和光市	17.18	18.84	32	横瀬町	16.83	18.06	53	吉見町	16.42	18.10
12	久喜市	17.18	18.82	33	鴻巣市	16.81	18.59	54	本庄市	16.42	18.07
13	宮代町	17.08	19.08	34	加須市	16.81	18.21	55	富士見市	16.41	18.60
14	三芳町	17.07	18.73	35	毛呂山町	16.78	18.16	56	越生町	16.34	17.70
15	上尾市	17.07	18.77	36	ふじみ野市	16.76	18.52	57	三郷市	16.25	18.51
16	桶川市	17.05	18.99	37	皆野町	16.76	18.24	58	美里町	16.16	17.64
17	さいたま市	17.03	18.97	38	草加市	16.74	18.60	59	松伏町	16.10	17.72
18	小川町	17.02	18.56	39	川越市	16.73	18.66	60	神川町	16.10	17.31
19	上里町	17.00	18.25	40	坂戸市	16.72	18.96	61	八潮市	15.99	18.00
20	新座市	16.98	18.84	41	行田市	16.72	18.35	62	川口市	15.98	18.25
21	東秩父村	16.98	18.89	42	幸手市	16.66	18.20	63	戸田市	15.71	17.84
								--	全県	16.84	18.68

【女性】

順位		65 歳健康寿命 (年)	65 歳平均余命 (年)	順位		65 歳健康寿命 (年)	65 歳平均余命 (年)	順位		65 歳健康寿命 (年)	65 歳平均余命 (年)
1	上里町	20.70	23.20	22	蓮田市	20.02	23.86	43	本庄市	19.63	23.15
2	鳩山町	20.63	23.79	23	ときがわ町	20.02	23.99	44	嵐山町	19.61	22.95
3	志木市	20.57	23.90	24	長瀬町	20.00	23.17	45	春日部市	19.60	23.56
4	小川町	20.47	23.83	25	越谷市	19.98	23.54	46	美里町	19.50	23.00
5	加須市	20.38	23.45	26	久喜市	19.95	23.57	47	鴻巣市	19.49	23.36
6	入間市	20.28	23.46	27	横瀬町	19.89	22.26	48	飯能市	19.44	23.42
7	桶川市	20.23	23.57	28	幸手市	19.85	23.21	49	東松山市	19.43	23.34
8	和光市	20.23	23.83	29	上尾市	19.83	23.90	50	川越市	19.42	23.38
9	朝霞市	20.22	23.64	30	新座市	19.83	23.80	51	三郷市	19.37	23.39
10	所沢市	20.19	23.79	31	日高市	19.81	23.28	52	坂戸市	19.35	23.65
11	吉川市	20.19	23.97	32	白岡市	19.81	23.36	53	神川町	19.28	22.01
12	滑川町	20.16	23.64	33	寄居町	19.80	23.66	54	松伏町	19.26	22.98
13	毛呂山町	20.15	22.93	34	熊谷市	19.80	23.35	55	北本市	19.23	23.34
14	羽生市	20.14	23.50	35	さいたま市	19.78	23.87	56	杉戸町	19.20	23.32
15	越生町	20.11	22.90	36	蕨市	19.77	23.76	57	宮代町	19.11	23.59
16	吉見町	20.05	23.75	37	深谷市	19.76	23.58	58	川口市	19.09	23.43
17	行田市	20.05	23.46	38	小鹿野町	19.76	23.58	59	八潮市	19.07	23.18
18	皆野町	20.05	23.92	39	草加市	19.74	23.50	60	伊奈町	19.04	23.68
19	狭山市	20.03	23.84	40	ふじみ野市	19.71	23.73	61	戸田市	18.96	23.26
20	三芳町	20.03	23.28	41	鶴ヶ島市	19.69	23.58	62	富士見市	18.96	23.40
21	秩父市	20.03	23.21	42	川島町	19.68	23.53	63	東秩父村	17.90	22.38
								--	全県	19.76	23.58

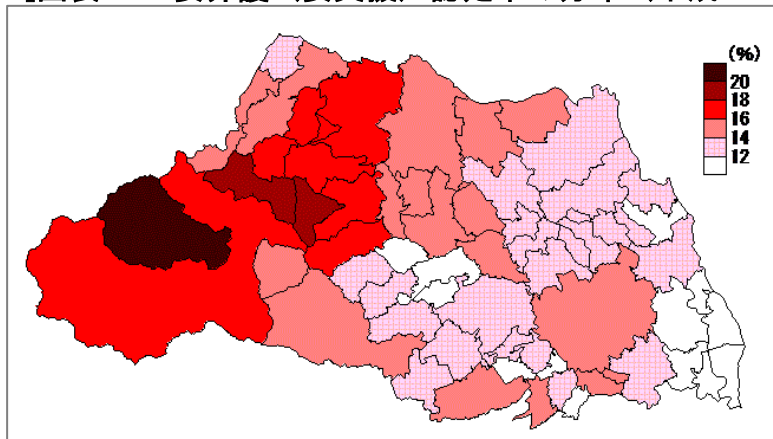
平成 24 年埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」（県総務部統計課「統計からみた埼玉県市町村のすがた 2015」から抜粋）

5 介護保険の状況

埼玉県第1号介護被保険者に占める要介護認定者の割合は全国的に低い水準ですが、要介護認定者数は年々増加しています。

秩父地域等、県西側の地域の認定率が高い状況です。

〔図表 44 要介護（要支援）認定率の分布（平成 24 年度）〕



〔図表 45 県内各市町村の要介護（要支援）認定率（平成 24 年度）〕

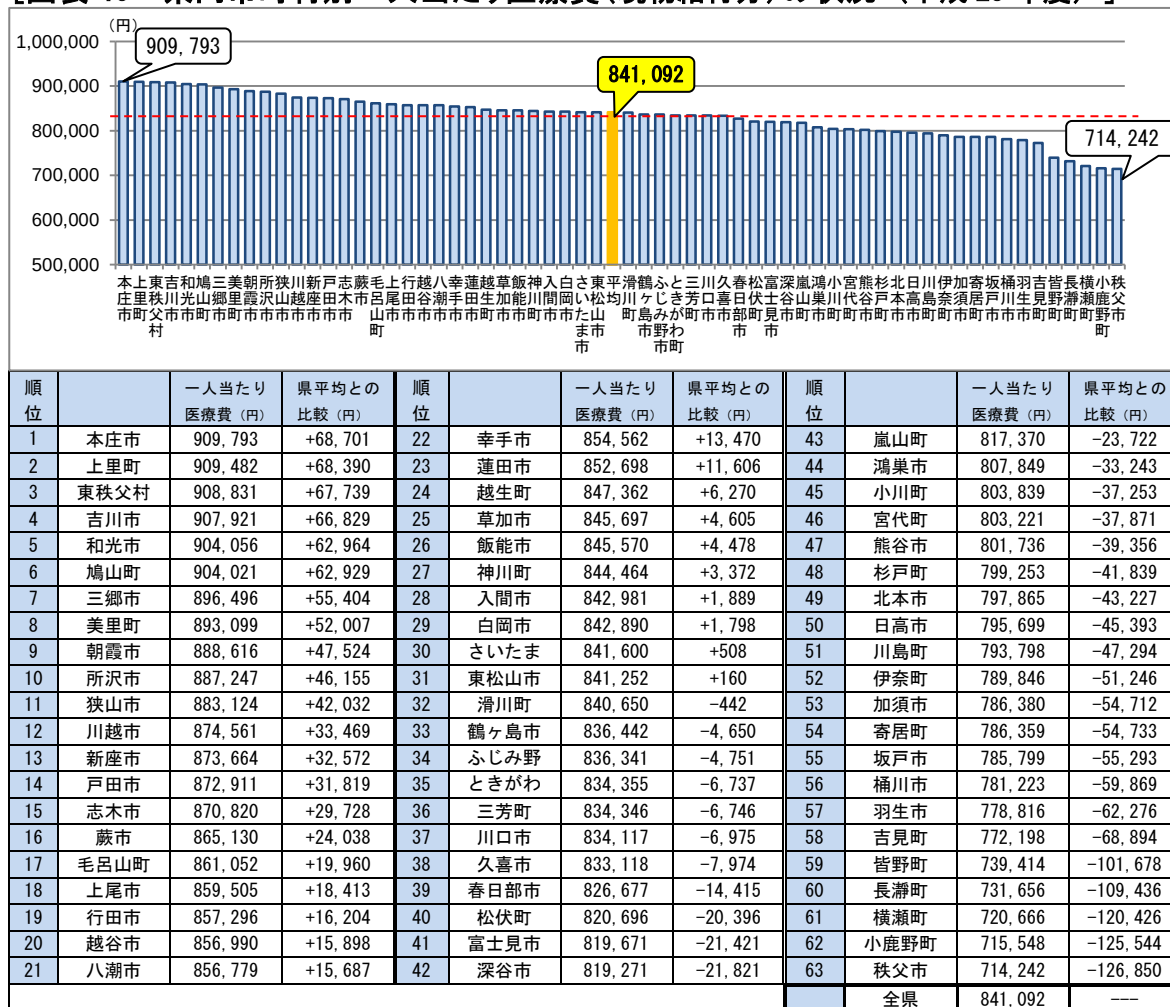
順	市町村名	認定率 (%)	認定者数 (人)	順	市町村名	認定率 (%)	認定者数 (人)
1	小鹿野町	20.8	820	33	富士見市	13.5	3,172
2	東秩父村	19.3	207	34	川越市	13.5	10,582
3	皆野町	18.7	604	35	加須市	13.5	3,510
4	長瀬町	17.7	427	36	朝霞市	13.4	3,088
5	寄居町	16.8	1,565	37	桶川市	13.0	2,371
6	秩父市	16.6	3,152	38	鴻巣市	12.8	3,513
7	美里町	16.5	485	39	春日部市	12.8	7,432
8	ときがわ町	16.4	569	40	狭山市	12.8	4,910
9	深谷市	16.1	5,359	41	伊奈町	12.6	1,046
10	小川町	16.0	1,443	42	久喜市	12.6	4,577
11	熊谷市	15.8	7,500	43	白岡市	12.6	1,446
12	本庄市	15.3	2,872	44	蓮田市	12.6	2,060
13	さいたま市	15.2	38,552	45	上尾市	12.4	6,455
14	飯能市	15.0	3,048	46	北本市	12.3	2,070
15	行田市	15.0	3,160	47	日高市	12.3	1,737
16	所沢市	14.9	11,408	48	ふじみ野市	12.1	2,987
17	東松山市	14.8	3,033	49	幸手市	12.1	1,668
18	戸田市	14.8	2,806	50	毛呂山町	12.0	1,100
19	横瀬町	14.8	348	51	坂戸市	11.9	2,823
20	川島町	14.8	787	52	草加市	11.9	6,145
21	滑川町	14.7	491	53	三郷市	11.9	3,539
22	神川町	14.5	479	54	志木市	11.8	1,813
23	羽生市	14.5	1,943	55	吉川市	11.8	1,537
24	新座市	14.4	5,123	56	杉戸町	11.7	1,364
25	蕨市	14.3	2,237	57	鳩山町	11.6	544
26	吉見町	14.3	701	58	越谷市	11.3	8,047
27	嵐山町	14.3	682	59	三芳町	11.2	1,005
28	入間市	13.8	4,682	60	松伏町	11.1	739
29	宮代町	13.7	1,246	61	八潮市	10.9	1,876
30	上里町	13.7	860	62	鶴ヶ島市	10.7	1,584
31	越生町	13.6	460	63	和光市	9.3	1,153
32	川口市	13.6	15,924	—	全県	13.7	218,866

厚生労働省「介護保険事業状況報告」、大里広域市町村圏組合資料（県総務部統計課「統計からみた埼玉県市町村のすがた 2015」から抜粋）

6 医療費の状況

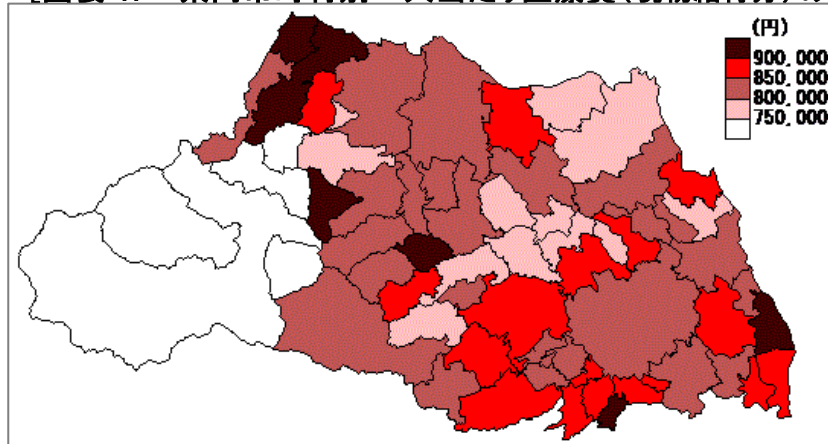
市町村別後期高齢者の一人当たり医療費（現物給付分）の埼玉県平均は841,092円、092円です。最高は909,793円、最低は714,242円となっており、秩父地域周辺の市町村が低い状況です。

〔図表 46 県内市町村別一人当たり医療費（現物給付分）の状況（平成 25 年度）〕



※現物分は、医科、歯科、調剤、食事・生活療養費、訪問看護療養費、柔道整復（日整会員分のみ）の合計

〔図表 47 県内市町村別一人当たり医療費（現物給付分）の分布（平成 25 年度）〕

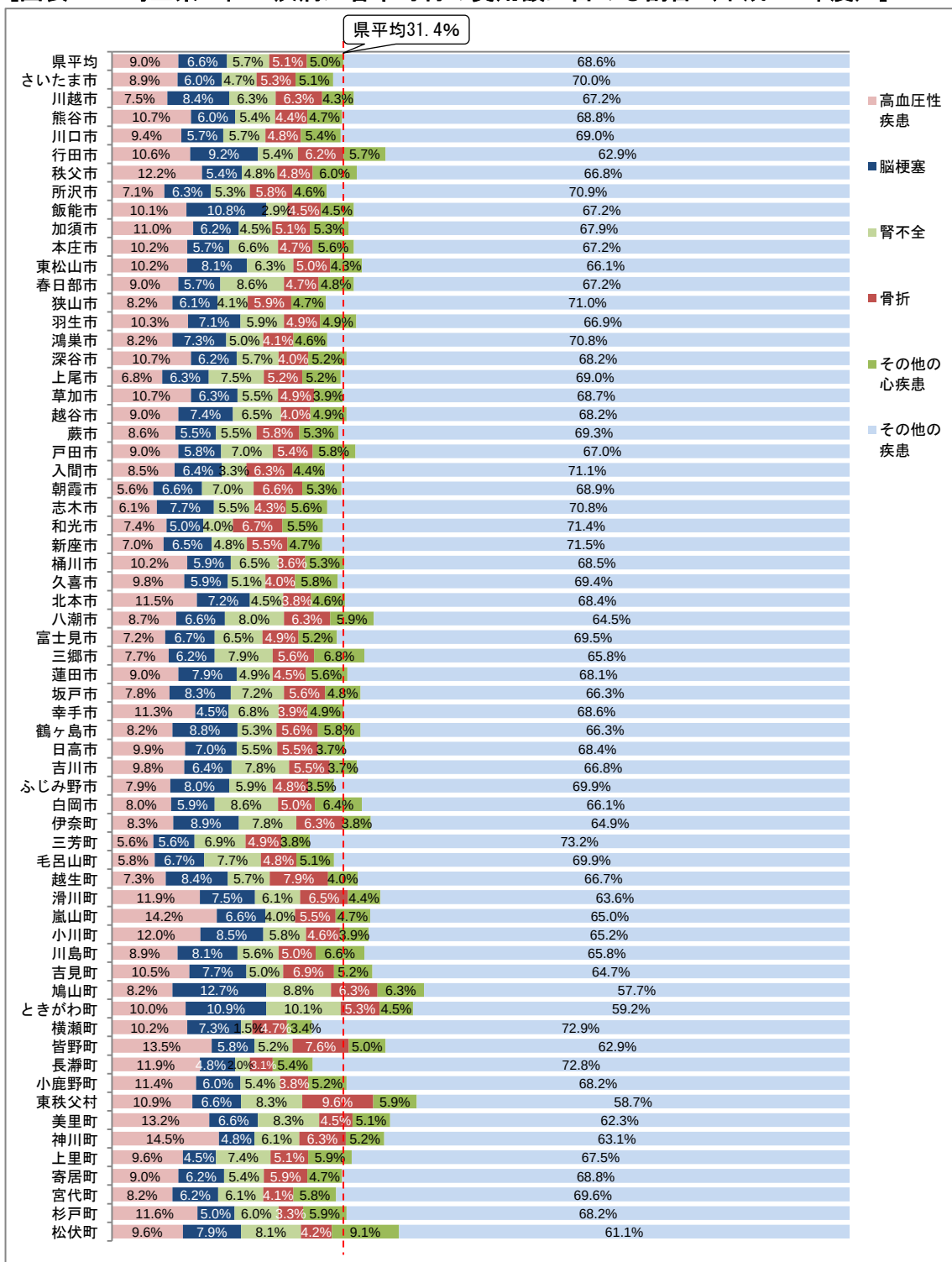


図表 46・47 は埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

7 疾病別医療費の状況

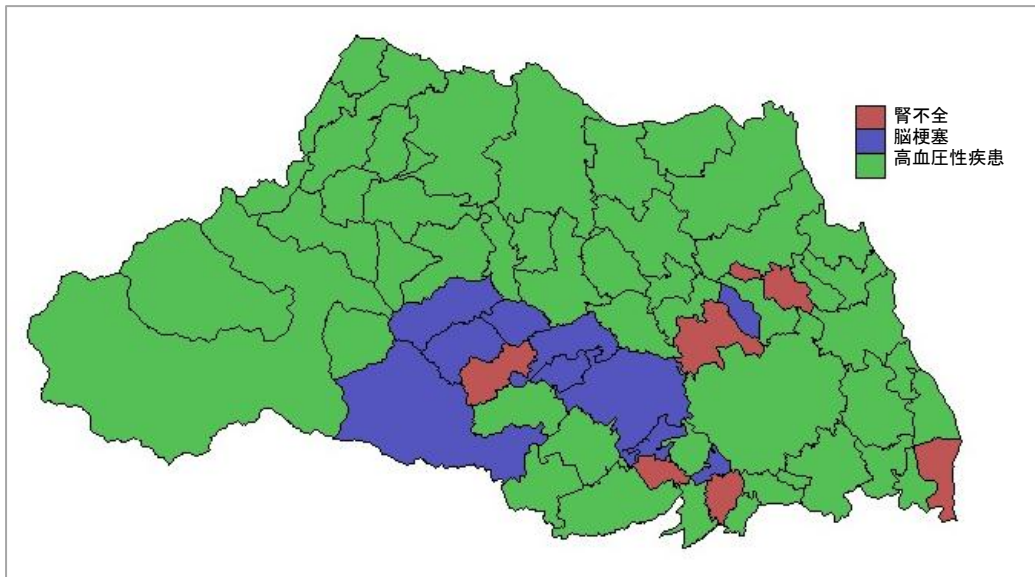
埼玉県における後期高齢者の疾病状況をみると、医療費が高い上位5疾病が全体費用額の約31.4%を占めています。上位5疾病の状況を市町村別にみると、47市町村で高血圧性疾患、10市町で脳梗塞、6市町で腎不全が最も高くなっています。

〔図表 48 埼玉県上位5疾病が各市町村の費用額に占める割合（平成25年度）〕



埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

〔図表 49 各市町村の費用額が最も高い疾病の分布（平成 25 年度）〕



〔図表 50 埼玉県上位 5 疾病の各市町村の費用額（平成 25 年度）〕

(単位：円)

	高血圧性疾患	脳梗塞	腎不全	骨折	その他の心疾患	その他の疾患
さいたま市	6,125,157,370	4,118,589,230	3,241,323,750	3,610,606,660	3,467,761,160	47,948,604,970
川越市	1,563,063,700	1,748,738,440	1,325,631,110	1,314,871,300	905,708,430	14,027,112,310
熊谷市	1,443,124,140	811,493,330	728,307,820	588,211,840	633,794,650	9,264,427,650
川口市	2,847,817,950	1,735,663,710	1,726,754,770	1,445,124,140	1,626,158,410	20,809,345,570
行田市	654,365,490	568,998,920	330,660,530	381,411,030	350,997,660	3,879,923,620
秩父市	678,541,820	300,134,200	263,997,410	264,578,560	331,231,060	3,717,607,270
所沢市	1,492,329,820	1,317,005,780	1,123,312,500	1,228,291,060	971,248,610	14,911,456,590
飯能市	599,697,990	644,503,780	175,113,970	267,434,030	265,471,690	4,001,229,530
加須市	838,806,550	472,126,770	340,888,590	390,563,230	404,197,910	5,146,790,970
本庄市	643,922,700	357,852,650	417,856,860	298,093,910	352,280,840	4,214,801,140
東松山市	572,139,970	455,925,020	352,175,480	282,092,290	244,473,450	3,714,117,300
春日部市	1,235,121,270	778,001,690	1,174,436,890	640,222,570	650,192,900	9,198,296,240
狭山市	823,002,350	618,201,250	411,980,060	590,993,980	474,649,170	7,177,050,980
羽生市	429,127,300	296,730,420	245,040,440	205,162,990	203,857,330	2,804,338,870
鴻巣市	581,670,000	521,577,970	355,229,420	290,485,500	328,174,410	5,047,264,980
深谷市	1,020,801,950	594,338,070	542,578,300	385,998,230	500,539,070	6,520,542,590
上尾市	945,252,540	875,746,100	1,043,293,260	720,100,690	719,483,050	9,603,155,570
草加市	1,368,025,920	802,397,380	707,669,280	624,561,170	498,071,370	8,787,070,440
越谷市	1,543,917,570	1,267,196,410	1,120,613,120	692,272,620	845,503,200	11,696,673,680
蕨市	403,059,680	260,299,000	260,155,720	272,468,640	249,007,010	3,253,397,560
戸田市	440,579,250	285,686,140	345,839,660	265,105,830	285,721,170	3,286,566,550
入間市	731,071,370	554,345,570	281,673,460	545,186,600	377,002,080	6,109,140,810
朝霞市	353,086,080	418,280,550	446,396,900	420,476,610	333,640,730	4,379,935,310
志木市	244,625,090	307,610,770	220,424,470	171,526,500	224,527,660	2,832,464,180
和光市	255,917,620	173,300,070	136,073,830	229,182,510	189,422,530	2,451,785,830
新座市	630,237,300	588,146,530	438,225,640	495,569,820	428,080,320	6,460,940,680
桶川市	479,598,440	278,802,210	305,229,290	171,098,600	251,620,880	3,226,662,540
久喜市	919,367,540	555,031,350	476,527,470	377,744,630	539,305,340	6,471,827,780
北本市	473,266,220	294,175,690	184,726,480	155,684,160	190,228,420	2,809,494,680
八潮市	342,142,600	258,536,700	314,986,460	248,011,030	230,805,950	2,544,239,240
富士見市	401,552,960	373,981,760	366,107,500	274,265,150	292,079,980	3,904,590,610
三郷市	529,908,720	428,425,820	542,783,530	386,116,370	467,954,630	4,538,551,180
蓮田市	384,009,670	337,482,670	206,908,680	189,541,750	239,499,310	2,895,467,390
坂戸市	413,314,540	438,438,700	376,681,660	296,368,560	252,528,810	3,489,816,180
幸手市	402,237,890	159,325,120	242,593,280	138,826,930	173,359,980	2,446,665,600
鶴ヶ島市	265,761,260	284,353,560	172,148,430	180,650,440	189,101,510	2,144,415,280
日高市	322,917,610	228,575,000	178,955,030	181,126,210	122,224,760	2,233,744,840
吉川市	322,425,910	211,975,550	256,305,450	182,109,240	122,835,950	2,191,896,500
ふじみ野市	512,754,840	516,406,080	378,845,360	312,530,130	226,695,160	4,524,100,810
白岡市	259,882,090	192,173,960	278,185,390	162,433,890	205,124,340	2,132,300,350
伊奈町	145,610,610	157,576,910	137,617,210	110,413,020	67,343,140	1,146,241,220
三芳町	117,872,340	118,436,400	145,973,680	102,228,840	79,267,860	1,541,772,560
毛呂山町	140,319,600	163,065,360	186,807,780	116,070,940	123,533,500	1,707,670,360

〔図表 50 埼玉県上位 5 疾病の各市町村の費用額（平成 25 年度）（つづき）〕

（単位：円）

	高血圧性疾患	脳梗塞	腎不全	骨折	その他の心疾患	その他の疾患
越生町	76,094,700	87,052,250	58,765,260	82,249,060	41,157,710	692,599,390
滑川町	120,330,730	75,848,770	61,444,410	65,916,070	44,704,370	639,710,460
嵐山町	202,550,820	93,773,440	56,508,120	78,020,060	66,546,570	926,939,470
小川町	348,579,330	248,541,470	170,042,820	133,656,410	113,502,150	1,899,407,150
川島町	131,069,270	119,692,840	82,158,030	73,354,350	97,259,400	966,321,430
吉見町	133,293,700	97,764,660	63,993,330	87,980,890	66,169,790	825,982,830
鳩山町	104,375,800	161,170,600	111,866,120	79,365,320	79,720,140	728,849,600
ときがわ町	120,218,150	130,641,720	120,566,990	62,811,770	53,698,390	708,342,690
横瀬町	64,557,730	46,227,800	9,307,120	29,578,330	21,909,980	463,904,980
皆野町	143,003,420	61,715,970	55,461,910	80,239,530	53,292,540	664,541,230
長瀨町	79,155,340	31,928,780	13,156,820	20,523,450	36,199,970	484,815,950
小鹿野町	137,742,050	71,995,210	65,461,130	45,706,050	62,827,740	820,839,800
東秩父村	49,356,670	29,824,340	37,217,100	43,453,020	26,763,820	264,271,160
美里町	139,191,310	69,202,700	86,791,190	47,218,880	53,209,560	655,499,070
神川町	155,167,370	51,687,660	65,441,960	67,396,280	56,051,250	675,839,830
上里町	192,946,540	90,882,790	149,736,400	102,962,020	119,325,120	1,359,658,330
寄居町	232,861,880	161,146,040	140,335,110	153,348,560	122,946,130	1,788,220,530
宮代町	180,888,130	136,172,630	132,880,490	89,622,820	128,357,370	1,527,025,140
杉戸町	335,923,110	146,167,290	175,443,690	95,894,070	170,958,770	1,983,117,330
松伏町	145,250,250	118,717,720	122,567,770	62,924,550	136,973,700	921,619,050

図表 49・50 は、埼玉県後期高齢者医療広域連合集計

第4章 保健事業の推進

1 これまでの取組

これまで、広域連合では被保険者の健康保持・増進を図る目的で下記の事業を行ってきました。これらの保健事業を充実させることにより、疾病予防又は疾病の早期発見を図り、もって医療費の適正化を推進しています。

〔図表 51 これまでの保健事業〕

	健康診査	長寿・健康増進事業	訪問指導	ジェネリック差額通知
事業開始年度	平成 20 年度	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 25 年度
目的・目標	疾病の早期発見により生活習慣病等の重症化予防及び心身機能の低下の防止を目的として、介護予防、生活の質の維持に繋げる。	市町村が実施する被保険者の健康増進を目的とする事業に対し、その事業の継続を支援し、被保険者の健康保持・増進を推進することを目的とする。	健康相談を通じて被保険者の健康保持を図るとともに、医療機関等の適正受診に関する指導助言を行うことにより医療費適正化を図る	ジェネリック医薬品の利用促進により医療費適正化を図る
対象（状態・人数）	対象除外者（施設入所者等）を除く被保険者	被保険者	重複・頻回・多受診者	慢性疾患の先発医薬品を服用中の者
方法	市町村により異なる	国の特別調整交付金を活用	レセプトデータから対象者を抽出し、保健師及び看護師が訪問	文書により通知 H25：年 2 回 10 万通 H26：年 1 回約 7 万通
実施体制	構成市町村への業務委託	実施市町村に対して広域連合が補助を行う	業者委託	業者委託
事業評価	受診率 H20：28.0% H21：27.4% H22：28.0% H23：28.8% H24：30.4% H25：31.2%	実施市町村数（延べ） H23：115 H24：141 H25：142	訪問後 3 か月分のレセプトにより効果測定を行う 平成 25 年度に 138 人を訪問し、1 か月当たり約 129 万円を削減	実施後 1 か月分のレセプトデータからジェネリック医薬品への切替状況を検証し、効果額を測定 1 か月当たり約 3,000 万円を削減
課題	市町村間の受診率格差が大きい	国の交付金の基準により、実施市町村の実績に応じた補助金の交付ができない	訪問受け入れ率の低下	平成 29 年央にジェネリック医薬品の数量シェアを 70%以上にする（平成 26 年 1 月現在 44.9%）

2 後期高齢者の健康課題

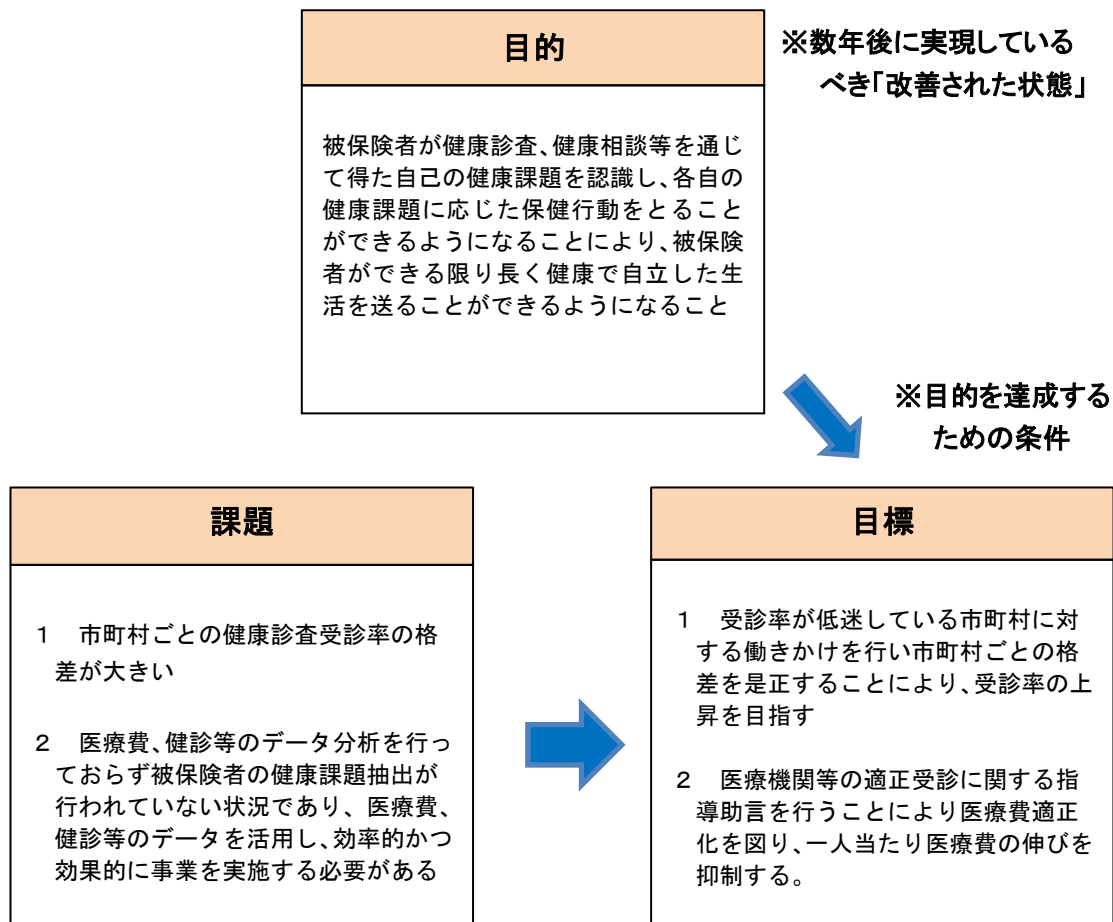
健康課題には地域による差があるため、地域の実情に合った対応が必要と考えられます。

また、後期高齢者の健康課題については、疾病によるほか、加齢による身体機能の低下等によるものが多いと考えられます。

〔図表 52 後期高齢者の健康課題〕

健康課題	課題に対する考え方
①生活習慣病等の重症化予防	埼玉県の後期高齢者の上位 10 疾病には、「高血圧性疾患」「糖尿病」が含まれており、これら生活習慣病の重症化予防が課題と考えられる。 生活習慣病は若い年代の不健康な生活習慣の継続により「高血圧症」「糖尿病」等の発症を招き、生活習慣が改善されない場合は、「脳血管疾患」「心疾患」「腎疾患」等の疾患に至る可能性がある。 糖尿病性腎症により人工透析を要す状態になった場合、自立した生活を送ることに大きな支障が出るため、疾病要因の早期発見が必要と考えられる。 「高血圧性疾患」「糖尿病」等の生活習慣病の発症年齢は 30 歳から 50 歳頃と言われていることから、現役世代からの予防、治療が重要であり、県、市町村との連携を図ることにより、医療費の抑制、介護予防、生活の質の維持を図る必要がある。
②口腔機能低下の防止	埼玉県の後期高齢者の上位 10 疾病には、「歯肉炎及び歯周疾患」が含まれている。歯周疾患は、「糖尿病」「動脈硬化」等の生活習慣病の悪化、「誤嚥性肺炎」「感染症」の原因になると言われており、歯の喪失による咀嚼機能、消化機能の低下、低栄養等を引き起こす要因として後期高齢者の重要な健康課題と考えられる。 歯周疾患は後期高齢者となる以前に発症することが多く、慢性的に進行すると言われていることから、若い世代から引き続き、口腔機能低下の防止に努め、後期高齢者の口腔機能低下による疾病を予防し、医療費の抑制、介護予防、生活の質の維持を図る必要がある。
③運動・認知機能の維持	運動機能及び認知機能の維持を図ることにより、後期高齢者ができるだけ長い期間自立した生活を維持することができるよう、市町村の事業に対して支援を行う。

3 目標



4 保健事業について

生活習慣病等の発症や重症化を予防するとともに、加齢に伴う心身機能の低下を防止し、高齢期にある被保険者ができる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、被保険者に対して、運動機能や認知機能の維持・回復、低栄養の防止等に向けて、生活習慣の課題を意識し見直すための働きかけを行います。

① 医療費分析

被保険者の健康課題等を把握し、保健事業を効果的かつ効率的に推進することを目的とします。

【実施方法】

平成27年度に国保データベースシステム※9を導入し、システムを活用して医療費データ、健診データの分析を行います。

【目標】

平成28年度中に、構成市町村に分析結果を提示します。

② 健康診査

生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下の防止を目的とします。

【実施方法】

構成市町村への委託事業として各市町村の実情に即した形で実施しています。より多くの被保険者が受診できるよう、実施主体である市町村と連携して取り組みます。

また、未受診者への対策について検討します。

※9 国保データベースシステム

国民健康保険団体連合会が管理する「健康診査」「医療（レセプト）」「介護保険」等の情報から統計情報等を作成し、医療保険者に提供するシステム。

【検査項目】

現在実施している検査項目に加え、後期高齢者の特性に応じた検査項目について検討します。

基本項目

問診	既往歴の調査（服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む）
	自覚症状及び他覚症状の検査
身体計測	身長
	体重
	B M I
血圧	収縮期血圧
	拡張期血圧
血中脂質検査	中性脂肪
	H D L－コレステロール
	L D L－コレステロール
肝機能検査	G O T
	G P T
	γ－G T P
血糖検査 （いずれかの項目の実施で可）	空腹時血糖
	ヘモグロビンA 1 c
尿検査	糖
	蛋白
腎機能検査	クレアチニン
	尿酸

※ 血糖検査において、健康診査実施前に食事を摂取している等により、空腹時血糖が測定できない場合は、ヘモグロビンA 1 cを測定すること。

※ 腎機能検査は、実施しないことができる。

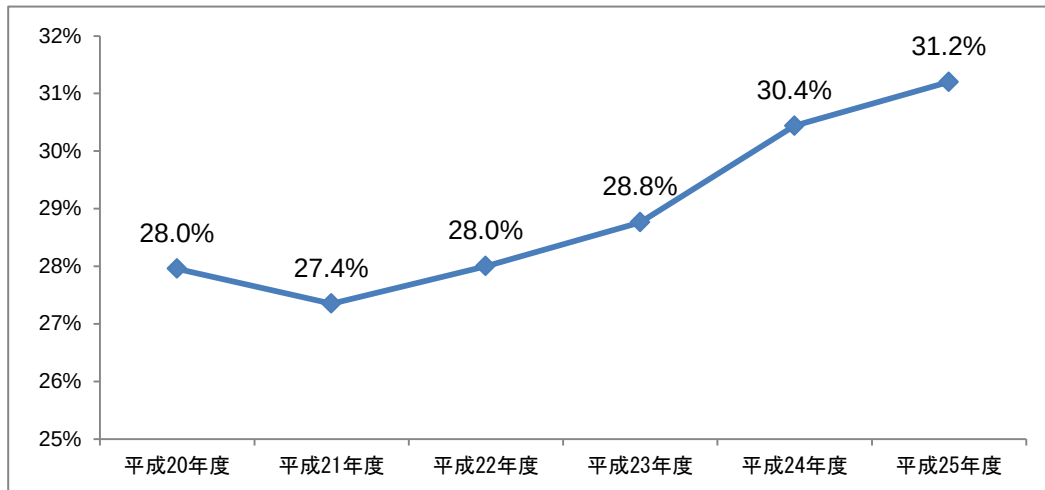
詳細項目

詳細項目	実施できる条件（判断基準）
貧血検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値）	貧血の既往歴を有する又は視診等で貧血が疑われる者
心電図検査	前年度の健康診査の結果等において、血糖、脂質及び血圧の全てについて、次の基準に該当した者
	血糖 空腹時血糖値が 100mg/dl 以上、またはHbA1c がNGSP値 5.6%以上
	脂質 中性脂肪の量が 150 mg/dl 以上、またはHDLコレステロールの量が 40mg/dl 未満
	血圧 収縮期 130mmHg 以上、または拡張期 85 mmHg 以上

【受診率】

埼玉県の後期高齢者医療健康診査受診率は、制度発足当初より年々向上しており、全国平均を上回っています。

【図表53 健康診査受診率の推移】



【目標】

平成27年度の受診率目標を33.7%とし、平成29年度末までの受診率目標を35%とします。

医療機関での受診が必要な者や保健指導を必要とする者を的確に抽出するため、健診データを活用する仕組みを早期に構築します。

③歯科健康診査

口腔機能低下による歯周疾患等の早期発見、早期改善を図ることにより被保険者の全身状態への悪影響を予防することを目的とします。

【実施方法】

埼玉県後期高齢者医療制度被保険者に対して歯科健康診査を実施する市町村に広域連合が補助金を交付します。

【検査項目】

歯の状況、歯肉の状況、その他（咬合、粘膜異常、口腔衛生状態、口腔乾燥、口腔機能評価等）

【受診者数】

平成25年度実績：4,009人（市町村事業として実施した実績の集計）

【目標】

広域連合が平成27年度から実施する事業であり、今後の推移により実施方法、事業拡大について検討します。

④ 訪問指導

健康相談を通じて被保険者の健康保持を図るとともに、医療費の適正化に向け、医療機関等での適正受診に関する指導助言を行うことを目的とします。

【実施方法】

民間業者への業務委託により実施しています。

《訪問指導対象者選定基準》

- ・ 頻回受診者：（レセプト1枚あたりの診療実日数が20日以上）
- ・ 多受診者：（2か月以上連続して1か月当りのレセプトが4件以上）
- ・ 重複受診者：（同一診療月内に同一傷病名のレセプトが2件以上）

【訪問指導後の改善率】

平成23年度 36%

平成24年度 40%

平成25年度 63%

【目標】

訪問指導後の効果把握により、実施内容の充実を図り改善率向上に努めます。

⑤市町村が実施する健康増進に係る事業に対する経費補助

市町村が地域の実情を踏まえて実施する被保険者の健康増進を目的とする事業に対し、その事業の継続を支援し、被保険者の健康保持・増進を推進することを目的とします。

【実施方法】

実施市町村に対して、国の交付金を活用して補助を行います。

【実績】

過去3年の実施状況は次の表のとおりです。

平成25年度は62市町村に対して、総額約353,520千円の補助を行いました。

【今後の取組】

現在、経費の補助を行っている事業に加え、各市町村の医療費データ・健診データの分析結果により、広域連合が埼玉県と連携して、市町村ごとに実施することが望ましいと考えられる健康増進に係る事業を提案し、その事業を実施する市町村に対して事業経費の補助を行います。

平成２８年度中に市町村に対して事業の提案を行い、平成２９年度から事業を開始します。当面は事業の実施が可能な市町村に対するモデル事業の位置づけで実施します。

〔図表５４ 「長寿・健康増進事業」実施市町村数の推移〕

区分	内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
スポーツクラブ、健康施設等の利用助成	保養施設、入浴施設等の利用助成	36	37	38
人間ドック等の費用助成	人間ドック等を受診した場合の費用助成	50	53	55
健康診査	追加項目に係る費用助成	0	9	1
その他被保険者の健康増進のために必要と認められる事業	肺炎球菌ワクチン接種費用助成	28	40	46
	歯科ドック等受診費用助成	1	2	2

⑥ジェネリック医薬品利用促進

国は、後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ（平成２５年４月）を作成し、後発医薬品の数量シェアを平成３０年３月末までに６０％以上にすることを掲げてきました。さらに、平成２７年６月の閣議決定において、平成２９年央に７０％以上とするとともに、平成３０年度から平成３２年度末までの間のなるべく早い時期に８０％以上とする、新たな数量シェア目標が定められました。

被保険者の医療費負担を軽減するとともに、後期高齢者医療制度における医療費の適正化を図ることを目的とします。

【実施方法】

ジェネリック医薬品利用差額通知の発送を民間業者への業務委託により実施しています。

また、毎年８月の被保険者証の年次更新時に同封している「後期高齢者医療の手引き」の一面にジェネリック医薬品の利用を促す文面を記載しています。

更に、平成２３年度の被保険者証の年次更新時に「ジェネリック医薬

品利用啓発リーフレット（希望カード）付き」を同封し、全被保険者に配布しました。以降、新規に後期高齢者医療制度に加入した方については、被保険者の送付時に随時、同封しています。

【実績】

ジェネリック医薬品利用差額通知についての実績は以下のとおりです。

○平成25年度

・ 発送数

平成25年8月：70,000通を発送

平成26年1月：30,000通を発送

合計：100,000通を発送

・ 効果（一月当たり：平成26年1月診療データを基に算出）

効果額：約2,971万円（医療費総額）

数量シェア：約44.9%（新指標：後発品のない先発薬を除く）

○平成26年度

・ 発送数

平成26年11月：71,816通を発送

・ 効果（一月当たり：平成26年12月診療データを基に算出）

効果額：約4,689万円（医療費総額）

数量シェア：約41.02%（新指標：後発品のない先発薬を除く）

【目標】

平成29年央にジェネリック医薬品の数量シェアを70%以上とします。（平成26年度末時点 41.02%）

⑦今後実施する保健事業に関する検討

平成27年1月13日社会保障制度改革推進本部※10において決定された医療保険制度改革骨子では、平成28年度から後期高齢者医療広域連合において、栄養指導等の高齢者の特性に応じた保健事業を実施することが示されています。

介護予防重視型システムの確立を目指す介護予防事業との連携等、今後、必要となる様々な保健事業に速やかに対応できるよう検討を進めていきます。

※10【社会保障制度改革推進本部】

持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（平成25年法律第112号）に基づき、受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度の確立を図るため、内閣に、関係閣僚により構成される社会保障制度改革推進本部が設置されています。

第5章 その他

1 計画の評価方法・見直し

(1) 評価方法

事業実施後、自己評価を行います。その後、埼玉県国民健康保険団体連合会に設置されている保健事業支援・評価委員会の評価を受けます。

(2) 計画の見直し

自己評価及び保健事業支援・評価委員会の評価をもとに、必要に応じて計画の見直しを行います。

2 計画の公表・周知

計画の公表、周知については、本広域連合のホームページに掲載します。

3 運営上の留意事項

(1) 市町村等との連携

保健事業の実施については、市町村との連携が不可欠であり、情報を共有して進めていきます。

(2) 個人情報の保護

個人情報の取扱いについては、埼玉県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例を遵守し、計画を実施します。